

多彩な暮らし、叶えるまち。— 田園都市しおじり —

塩尻中学校区版

地域と学校とが協働して取り組む
塩尻市 コミュニティ・スクール
2025年度 実践集

2025年度 塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える

～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

熟議

協働

マネジメント



[絵] 広丘小3年
高橋 璃菜 さん
「みんなで育てた
おいしいぶどう」



塩尻市 HP



塩尻市教育委員会

○巻頭言 塩尻市コミュニティ・スクール10年 そして ……1

塩尻市 教育長 佐倉 俊

■ **塩尻中学校区版 10年の取組**

- *塩尻東小…………… 2~23
- *塩尻西小……………24~45
- *塩尻中……………46~67

塩尻市CS&公民館フェスタ



■ **広陵中学校区版 10年の取組**

- *桔梗小…………… 2~23
- *広丘小……………24~45
- *広陵中……………46~67

■ **丘中学校区版 10年の取組**

- *片丘小…………… 2~23
- *吉田小……………24~45
- *丘中……………46~67



■ **塩尻西部中学校区版 10年の取組**

- *宗賀小…………… 2~23
- *洗馬小……………24~45
- *塩尻西部中……………46~67



■ **楡川小中学校・両小野学園版 10年の取組**

- *楡川小中(義務教育学校)…………… 2~51 (含特別寄稿)
- *両小野学園(小野保育園・北小野保育園・両小野小・両小野中)
……………52~97 (含特別寄稿)

● <特別寄稿>「コミュニティ・スクール10年を振り返る」 ……68~69

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」 ……70~72 (98~100)

*平成29年度第1~2回学校運営協議会におけるGW(カレカレ)を通して共有したもの

◆ 「塩尻市教育委員会の窓から」 ……73~74 (101~102)

塩尻市コミュニティ・スクール 10年 そして

平成 28 年 4 月、塩尻市内のすべての小・中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとしての活動がスタートしました。そのコミュニティ・スクールは、今年度 10 年目（両小野学園は 11 年目）という節目の年を迎えました。これまでの各校のコミュニティ・スクール活動の推進に、ご理解ご協力を賜りました、すべての皆様に感謝を申し上げます。

この取組みは、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を理念とした塩尻市教育振興基本計画において、育てたい人間像として定めた、「社会を生き抜く力を備えたひと、郷土を知り、誇りと愛着をもったひと」の育成に、コミュニティ・スクールというツールが最も有効であると考えたことから始まりました。この 10 年間を振り返ると、子どもたちに社会を生き抜く力や郷土に対する誇りと愛着を育もうと、地域と学校が力を合わせ一生懸命取り組み、多くの「こと」や「もの」を創り上げてきました。その結果、その学校らしい、またその地域らしい特色ある活動が創り出され、徐々にステップ・アップし、10 年たった今では伝統となりつつある「こと」や「もの」もあります。そして、一番の成果として、子どもたちを中心として、地域の多くの「ひと」がつながりました。

一方、軌道に乗り出したコミュニティ・スクール活動でしたが、令和元年度末からの約 3 年間は、コロナ禍により、創り上げてきた多くの活動が制限を受け、足踏みをしました。各校が分散登校やオンライン授業、学級・学年閉鎖という出口の見えないトンネルの入口に立たされた中でも、各コミュニティ・スクールは、校内の消毒、オンラインでの活動や感染対策を万全にした上での活動などに創意工夫して取り組んできました。令和 2 年度の実践集のテーマは「アンダー コロナ禍 未来につながる大きなチャレンジ！」です。この困難な状況に対しても、地域と学校が力を合わせ、前を向いて乗り越えてきたチャレンジが、今につながっています。

コロナ禍を経験した私たちは、子どもたちの豊かな成長には、子どもたちが多様な「ひと・こと・もの」と出会い、交流するなどの体験活動が欠かせないこと、また、よりよい地域づくりには、学校を核として「ひと」がつながり、「こと」や「もの」を創造していく営みが欠かせないことを実感しています。この実感をもとに取り組んできました、ここ数年のコミュニティ・スクール活動は、コロナ禍前に戻るだけではなく、さらに充実、進化を遂げています。そのような他校の実践に学びつつ、これからの 10 年を見据えて、自校の実践の取組みを広げたり質を高めたりするために、本実践集をご活用いただければ幸いです。

塩尻市教育長 佐倉 俊

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

本校のグランドデザインでは「さあ！Try！地域から学ぼう！」を掲げ、地域の人やものを学ぶことを通して地域を大切に、地域に誇りをもつ子どもの育成に注力してきました。

「地域の方に手助けをいただく」「地域の方と協働する」「地域で体験をする」という視点で活動を進めてきましたが、昨年度からはそれに加えて「地域に発信する」「地域に働きかける」「地域に貢献する」という、一つ段階を上げた活動を進めてきました。

活動を進めるうえで大切にしたこと

1. 子どもの自発的な活動を促し、自由な発想を生かすために「やってみたい」という気持ちを最大限尊重する。
2. 活動を「自分のこと」として引き受け、能動的な態度を養うために、教師や地域がすべてお膳立てするのではなく、失敗を認めながら子どもたちが活動を決め、地域の方にサポートしていただくようにする。
3. 「地域の方」というカテゴリーに「保護者」を加えることで特定の方に常にお世話になるのではなく、様々な方に関わっていただきながら持続可能なコミュニティ・スクールとなるようにする。
4. 子どもや先生方の要望を聞き、関係機関との連絡調整を密にしながら、効果的な予算執行に努める。



クラブ活動の成果を発表

阿禮太鼓を指導して下さった方々と音楽会でセッションしました。

「もっと伸び伸びと動きをつけて、躍動感のある音にしたい」という子どもの願いを受けて、公民館の協力を得て広い練習場を確保することができ、太鼓の腕も上達しました。

音楽会に来て下さった方からは「迫力のある太鼓だった」「地域の伝統に触れることはすばらしい」という感想が寄せられました。



1年生「せかい^{いち}のポップコーンやさん」

保育園で培ってきた「やってみよう」という意欲を小学校でどう生かしていくかを考える中で、「ポップコーンづくりで、おうちの人にボランティアで参加してもらおう」というアイデアが出てきました。

おうちの方に見ていただいているという安心感から、「もっとおいしいものを作るにはどうしたらいいだろう」「お店に来てもらうにはどんなことを工夫したらいいだろう」という問いが子どもたちからどんどん出てきて、最後は担任はただ見ているだけでよいというくらい、手際がよくなりました。



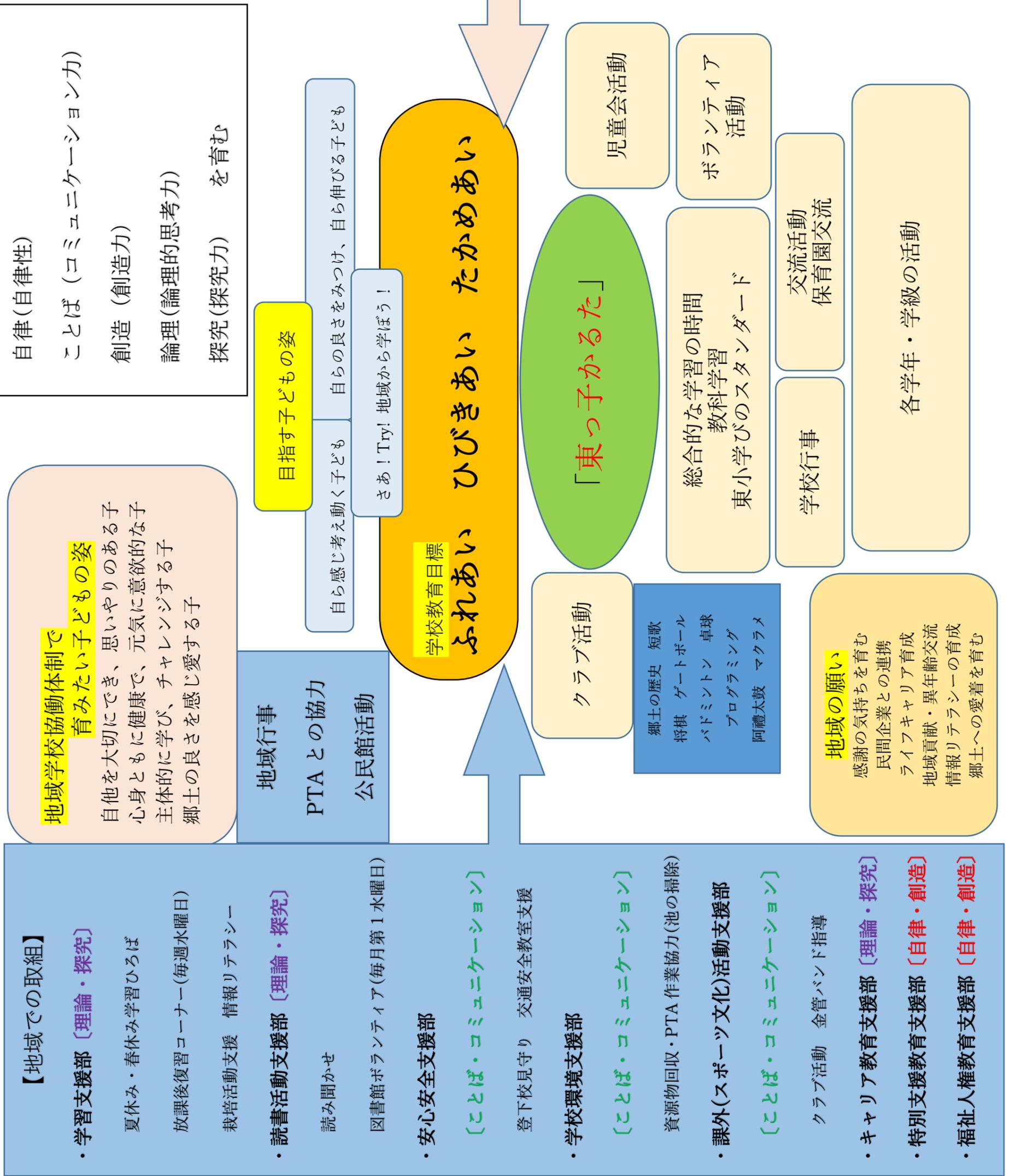
3年生「東地区の宝 ミズバショウ（水芭蕉）」

本校に伝わる「東っ子かるた」に「早春のみどり湖に咲くミズバショウ」という札があることを知った子どもが、実際に水芭蕉を育ててみたいという願いを実現させたいと、交渉の末、地域の方を招いて移植を試みました。この水芭蕉は枯れてしまうのですが、子どもたちは「今度は絶対成功させたい」と工夫をしました。

また、水芭蕉の魅力を多くの人に知ってもらうために「水芭蕉だんご」を作りたいと商品開発を始めるとともに和菓子屋さんに協力を求める電話をしました。

1年間を通して見えてきたこと

1. 子どもたちの創意工夫を地域の方が快く受け止めてくださったことで、大人と関わることに抵抗がなくなってきた。しかし、時には厳しく指導する、再考を促すという態度で接していただいたため、地域で生きることの難しさ、それゆえの誇りに触れることができた。
2. 担任と地域の方がねらいを共有し、「あえて失敗させる」という鷹揚な態度で子どもと接することで「粘り強さ」「工夫」「協働性」といった非認知能力を高めることができた。
3. 一方、学校支援コーディネーターのご尽力があるものの、学校としては地域の材の発掘や人材確保といった点においては課題がある。



自律(自律性)
ことば (コミュニケーション力)
創造 (創造力)
論理(論理的思考力)
探究(探究力) を育む

地域学校協働体制で育みたい子どもの姿

自他を大切にでき、思いやりのある子
心身ともに健康で、元気に意欲的な子
主体的に学び、チャレンジする子
郷土の良さを感受愛する子

地域行事

PTAとの協力

公民館活動

地域との協力
地域行事への参加

令和7年度 塩尻市立塩尻東小学校 地域教育協議会活動計画

赤字：新規、今後CSと絡めそうな活動

学校運営協議会 地域教育協議会	部長	副部長・委員	PTA 会長 副会長	児童会	学校職員 教頭	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
						学運協① はるやすみ 学習ひろば 東子カルタ	放課後学習会 情報 リテラシー		学運協② 地教協① なつやすみ 学習ひろば	クラブ活動 全4回 一昨年度 3年生 消防団活動		ミス/ festa 日程未定	クラブ郷土 の歴史学習 発表会参加	学運協③	学運協④ 地教協②		はるやすみ 学習ひろば	
1	学習支援部		放課後学習会講師の皆さん 授業補助ボランティアの 皆さん															
2	スポーツ 文化活動 支援部		クラブ講師の皆さん															
3	キャリア 教育 支援部																	
4	福祉・人権 教育支援部												人権講話・人権教育 特別支援教育支援部会と合同での体験講座 (例) プラインドウウォーク・車いす体験					
5	環境整備 支援部		<資源物回収 PTA+地域> P役員変更	花壇づくり		資源回収			阿禮神社例 大祭清掃				PTA作業 (池の清 掃)					
6	特別支援 教育支援部			ベルマーク		児童会 ベルマーク 集め								福祉・人権教育支援部会と合同での体験講座 (例) プラインドウウォーク・車いす体験				
7	安心安全 支援部		安心安全支援部の皆さん			登下校時の 見守り												
8	読書活動 支援部		読み聞かせ 活動 ボランティア			読み聞かせ :図書館 ボラ活動												
9	公民館活動				教頭	はるやすみ 学習ひろば			なつやすみ 学習ひろば			ミス/ festa (こども広場) 日程未定						はるやすみ 学習ひろば

※学習支援部会とキャリア教育支援部会を統合し、支援の立体化(教育課程に即した)、人員の確保に当たる

※特別支援教育支援部会と福祉・人権支援部会を統合し、関係性の有機化を図り人員確保に当たる

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

昨年度創立 150 周年を迎えた本校は、151 周年目のスタートとして「地域から学ぶ」をグランドデザインに掲げ、地域の人やものを学ぶことを通して地域を大切にし、地域に誇りを持つ子どもの育成に注力してきました。

この 1 年間、学校支援ボランティアの皆様にご生活科や総合的な学習の時間における諸活動、読み聞かせや図書館をはじめとする学校の環境整備、放課後学習やクラブ活動の講師等、様々なお力添えをいただきました。

アフターコロナの時代において、子どもが自ら探究したいことを見つけ出し、地域に進んで出向き、地域と関わる活動に取り組んできました。

地域の方にご協力いただいた学校活動



五感を駆使した食料生産の学習

5 年生での社会科学習に関連して、米作りの指導をしていただきました。草取りにも熱心に取り組み、収穫も無事に終わりました。



読み聞かせ・図書館ボランティアの活躍

読書活動だけでなく、壁面装飾などで図書館や本に親しみやすい環境づくりにお力添えをいただきました。



神の宿りし霧訪山

4年生は霧訪山の登山で郷土の歴史を学び、東っ子かるたの世界に浸りました。



クラブ活動の成果を発表

今年は阿禮太鼓を指導してくださった方々と音楽会でセッションしました。

教科学習を生かして



「地域を守る」とは

3年生の社会科で学んだ「くらしを守る」に関連して、地元の消防団の方に出前授業をしていただきました。



平和を考える

平和の実現を探究したいと考えた6年生が、戦争の被害に苦しむ国を救うためにヒマワリを育てている地域の方から話をうかがいました。

地域のために



地域をきれいにすぞ

隣接する阿禮神社や周辺の道路にある落ち葉清掃を行いました。



東地区を越えて

行灯を作成し、奈良井地区の灯明まつりや阿禮神社に展示・奉納しました。

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

今年度、塩尻東小は、創立150周年を迎えました。創立時より地域の学校として地域に支えられ、長い歴史を築いてまいりました。そして、今年度は、1年間を通して、地域の皆さまにご支援いただきながら記念行事を行ってまいりました。

それと共に、学校支援ボランティアの皆様にも、生活科や総合的な学習の時間における栽培活動の指導、読み聞かせや図書館の環境整備、放課後学習やクラブ活動の講師等、教育活動の様々な場面で支援していただきました。

子どもたちは、地域の方々とふれあい、共に様々な活動をしてまいりました。そして、子どもたちも、積極的に地域に出て、地域とのかかわりを深めていきました。

◆150周年記念事業



150周年記念運動会



150周年記念式典



150周年記念音楽会

150周年記念事業は、令和3年に地域の皆さまが実行委員会を立ち上げてくださり、多くの方々に関わっていただきながら準備を進めてまいりました。また、「東地区公民館まつり」ではバザーを開催していただきその収益を支援金としていただきましたし、周年事業の資金集めとして取り組んでいるアルミ缶回収にも地域の皆さまにご協力いただきました。

◆地域の方による学校支援ボランティア活動



栽培活動

5年生は稲作指導をしていただきました。



読み聞かせボランティア

朝の活動の時間に素敵な世界へ。



図書館ボランティア

壁面装飾作成や本の修理をしていただきました。



なつやすみ学習ひろば

塩尻東公民館で開催されました。



クラブ活動

地域の方を講師にお招きした9講座のクラブ。



放課後学習コーナー

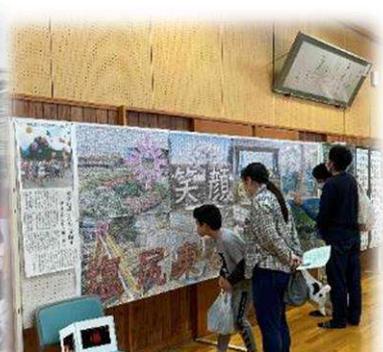
学習ボランティアによる学習サポート。

◆地域から学ぶ

今年度、地域の消防団にご協力いただきました。9月の避難訓練の際には、放水の様子を見せていただきました。また、11月には、出前授業をしていただきました。



◆地域のためにできること



金管バンド「ほたと音楽の夕べ」「東地区公民館まつり」で演奏

6月17日の「ほたと音楽の夕べ」と、10月14日の「東地区公民館まつり」で、本校の金管バンドの子ども達が、演奏を披露する機会をいただきました。楽器の運搬では、地域の方に支援していただきました。また、「公民館まつり」の際には、児童の作品等を出品し、地域の方に見ていただきました。



地域の環境美化

隣接の阿禮神社や周辺道路の落ち葉清掃を行いました。



地域に自分たちが育てた花を

緑化委員会で育てた花を鉢植えにして、地域の施設などに届けました。

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

本校では、学校支援ボランティア等の皆様に、総合的な学習の時間や生活科における栽培活動の指導、図書館の環境整備や読み聞かせ、クラブ活動の講師に放課後学習等、教育活動の様々な場面で支援していただいています。

子どもたちは、地域の方々とふれあい、共に様々な活動をしてまいりました。そして、子どもたちも、積極的に地域に出て、地域とのかかわりを深めていきました。

◆地域の方による学校支援ボランティア活動



栽培活動

地域の方に畑を耕していただいたり、5年生の稲作指導をしていただいたりしました。



読み聞かせボランティア

朝の活動の時間、子どもたちは楽しい本の世界に浸っていました。



クラブ活動

今年度は9講座、地域の方を講師にお招きしたクラブ活動が行われました。



図書館ボランティア

壁面装飾作成や本の修理など、図書館の環境整備を行っていただいています。



放課後学習コーナー

毎週水曜日、学習ボランティアさんが、児童の学習をサポートしてくれています。



夏休み学習広場

夏休み中に塩尻東公民館で全8回の「夏休み学習広場」が開催されました。

◆地域のためにできること、地域から学ぶこと

今年度、塩尻東地区では、withコロナ対応が進み、学校へ地域の方々から、様々なお誘い、ご提案をいただけるようになりました。学校も、感染状況などを見ながら、子どもたちが積極的に地域に関わる取り組みを大切にしてきました。



金管バンド「ほたと音楽の夕べ」「東地区公民館まつり」で演奏

6月22日の「ほたと音楽の夕べ」と、10月16日の「東地区公民館まつり」で、本校の金管バンドの子ども達が、演奏を披露する機会をいただきました。子どもたちは、地域の方々に向けて発表することを楽しみにして、毎朝の練習にも熱が入っていました。楽器の運搬では、地域の方に支援していただきました。



自分たちが育てた花を地域に

緑化委員会で育てた花を鉢植えにして地域の施設などに届けました。



地域の環境美化

隣接の阿禮神社や周辺道路の落ち葉清掃を行いました。



地域を学ぶ

地域の皆さま方のご支援を得ながら、地域の文化財を見学したり、お話を伺ったりしました。



子どもたちの願いを込めた灯笼メッセージ

今年度も、地域の皆様のご協力のもと子どもたちのメッセージが灯笼に組み込まれ、学校と大晦日の阿禮神社に展示・設置されました。

150周年に向けて

本校は来年度、150周年を迎えます。今年度、その準備のために、地域の皆様からたくさんのご支援をいただきました。「東地区公民館まつり」では、バザーを開催していただき、その収益を支援金としていただきました。150周年事業実行委員会にも多くの地域の皆様に関わっていただきました。また、周年事業の資金集めとして取り組んでいるアルミ缶回収にもご協力いただきました。地域の方と一緒に塩尻東小学校150周年を迎えたいと思います。

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

新型コロナウイルスの感染拡大と縮小が繰り返され、先の見通しがなかなか立たない中、どのような活動が、どのように実施できるのか模索しながらなんとか活動をしようと取り組んできたこの1年間のコミュニティ・スクールの活動でした。

子どもたちが思いやりをもち、心身ともに健やかに成長できるよう、地域の方々と共に感染対策をしながら様々な活動をしてまいりました。

【クラブ活動】



7月下旬 8月からのクラブ活動打合せ

7月下旬、8月から始まるクラブ活動の打ち合わせが行われ、地域講師の皆様にお集まりいただきました。

夏休みが明け、新型コロナウイルスの感染拡大のため、クラブ活動開始を9月に延期しました。しかし、延期した開始日においてもまだまだ感染警戒レベルが高く、最終的には、10月からの開始となりました。

当初、4回の開催を予定していましたが、3回に減らしての開催となりました。



阿禮太鼓



キックベース



ゲートボール



プログラミング



マクラメ



バドミントン



郷土の歴史



卓球



将棋

◆地域の方による学校支援ボランティア活動



栽培活動

地域の方に畑を耕していただいたり、5年生の稲作指導をしていただいたりしました。



読み聞かせボランティア

朝の活動の時間、子どもたちは楽しい本の世界に浸っていました。



図書館ボランティア

壁面装飾作成や本の修理など、図書館の環境整備を行っていただいています。季節ごとの壁面装飾は、子どもたちもとても楽しみにしていました。



子どもたちの願いを込めた灯籠メッセージ

今年度も、地域の皆様のご協力のもと子どもたちのメッセージが灯籠に組み込まれ、学校と大晦日の阿禮神社に展示・設置されました。子どもたちは、コロナの早い収束と、再来年度に迫った学校開校150周年への思いを記していました。

◆地域のために私たちができること



隣接の阿禮神社や周辺道路の落ち葉清掃を行いました。



感染予防を行いながら、保育園の年長さんと計4回の交流ができました。

終わりに

コロナ禍のため、制約が多い1年でした。ある方は「コロナで仕方ないけれど、早く子どもたちとたくさん活動したいよ」と言ってくださいました。一日も早くコロナが収まり、地域と学校が以前のように密接にかかわり、共に地域の子どもたちを育てていけることを願うばかりです。

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

コロナ禍の本年度、どんな活動ができるか模索の連続でした。「感染予防に努めながら」「できることから通常にもどして」「どんな工夫をすればできるか」を意識して、コミュニティ・スクールの活動に取り組んできました。

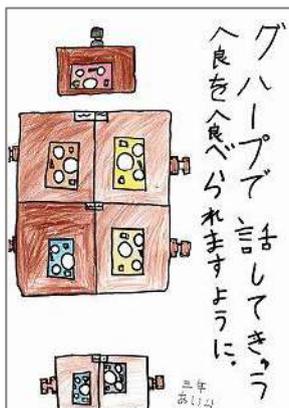
◆子どもたちが思い・願いを込めた行灯メッセージ



大晦日、阿禮神社参道に設置されたメッセージ行灯



メッセージ制作中



「子どもたちの声で少しでも地域に元気を！」の思いで取り組んだ2020年。全校児童一人ひとりが、この一年を振り返っての思いや新しい年に向けての願いなどを表現したメッセージを行灯に組み込んで、校内や大晦日の阿禮神社境内に展示・設置しました。地域の悠々くらぶ、阿禮神社の宮司さん、総代の皆様のご協力をいただき実現しました。



校内展示の準備中



校内展示の見学



阿禮神社への設置作業

◆再開した学校支援ボランティア活動



クラブ活動
発足した10のクラブで地域講師の皆様にご指導いただきました。



放課後学習コーナー
毎週水曜日に開催。机に透明の仕切り板を設けて実施しました。



図書館ボランティア
壁面装飾作成や本の修理など、図書館の環境整備を行っていただいています。本年度は、図書館の椅子の座布団も手作りで制作していただきました。



読み聞かせボランティア
10月から毎月実施。子どもたちを本の世界に誘ってくださいます。



見守りボランティア
分散登校から子どもたちの安全を見守っていただいています。

◆地域のために私たちができること



隣接の阿禮神社や周辺道路の落ち葉清掃を行いました。



保育園交流では、手作りリングバトンでつながって校内探検をしました。



塩尻志学館高校書道部とコラボし、全県に元気を届けようと24時間テレビでメッセージを発信しました。

子どもたちの成長を 地域とともに…

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

◆東小の宝「東っ子かるた」の取り組み

平成27年度に製作された「東っ子かるた」をさらに効果的に活用できるよう、年間指導計画に関わる活動を示し、教科や総合的な学習の時間、特別活動等の場で行っています。



教科	東っ子かるたの活用			
	9月	10月	11月	12月
生活科	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用
国語	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用
総合的な学習の時間	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用
特別活動	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用	東っ子かるたの活用



2年生の生活科活動「お正月の遊び」での様子



6年生が国語・総合で取り組んだ自作のパンフレット

◆ボランティアさんによる様々な活動

学校支援ボランティアさんに数多くの場面でご支援いただいています。おかげで、子どもたちの活動がより幅広く専門的なものになり、子どもたちも地域の方と活動することをとても楽しみにしています。



地域指導者によるクラブ活動(茶道クラブ)



児童集会で姉妹学級のなかよしグループでのかるた会



図書館ボランティア制作 図書館の巨大壁面装飾



毎週水曜日に行われている放課後復習コーナー



夏休み中に塩尻中と合同で開催した夏休み宿題ひろば

◆相手意識を高め、ライフ・キャリアの醸成につなげて
地域の力をお借りして、これから多くの人と関わっていく子どもたちが相手意識を高め、ライフ・キャリアの醸成につながる活動に取り組んでいます。



保育園児との継続的な交流で人との関わりを学ぶ



「はなみずき」の訪問(3年生)で、お年寄りとの交流

◆学校運営協議会委員の皆さんに直接児童の実態を
12月の学校運営協議会では、給食試食や授業参観を介して、委員の皆さんに児童や学校の様子を直接見て感じていただき、協議会での活発な議論に結びつけていただいています。



委員の皆さんが児童と一緒に給食を試食



運営協議会前の授業参観

塩尻東小「東っ子かるた」を中核にした取組

塩尻東小学校コミュニティ・スクール

塩尻東小校区の地域の歴史・文化・伝統と塩尻東小学校の活動について、自分たちの言葉や絵で表現した46枚の手作りのかるた。(平成27年度作成)



地域を知る・学ぶ

地域に知っていただく

地域・学校に愛着をもつ

●学校での取り組み



児童会主催のなかよし集会。
なかよし学級同士のグループごとにかかるたとりを楽しみ、大盛り上がり！



A3サイズの大判かるたもあります。
ダイナミックな活動に発展します。



1年生は国語の学習に活用しています。

保育園児との交流にも活用されています。



●学校と地域との協働の取組



地域に知っていただくために、地域の力をお借りして、かるた縁の地や「クラスが選ぶ東っ子かるた」の立て札27基を3年かけて設置しました。



“地域見て歩き”で、学んだことを参加された地域の方に説明しています。



地域ふれあい文化祭でのかるた会。かるた作成時6年生だった中学生も参加してくれました。



平成30年12月3日

保護者 様

塩尻市立塩尻東小学校長 小沢 敬也

「東っ子かるた」追加配布のお知らせ

日増しに寒さがつのる季節となりました。保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より学校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、地域に親しみ、地域を理解してほしいという願いから平成28年度に作成し、現在も活用している「東っ子かるた」は、完成した際に全家庭に配布されました。しかし、28年度以降は毎年や郵便等部等の動きはなく、現在に至っています。

学校では、塩尻東小の宝物である「東っ子かるた」を、さらに広く家庭・地域に親しみ、地域や学校生活についての認識づくりと活用していただきたいと考えております。この件につきまして、塩尻東地区地域づくり連絡協議会にご相談し上げたところ、協議会でかるたを購入していただけることになりました。本当にありがとうございます。



かるたの立て札を設置した小野家住宅(いちちょうや)を3年生が見学で訪れました。

東地区地域づくり協議会のご協力により、未配布の家庭にも東っ子かるたをお渡しすることができました。

＜○「成果」、▲「課題」、■「来年度に向けて」＞

○東地区地域づくり連絡協議会のご厚意により、東っ子かるたが作成された平成27年度以降配布されていなかった家庭に追加配布することができた。家庭で東っ子かるたを利用して地域を知る環境が整った。

▲地域、保護者、子どもたちが東っ子かるたを利用する際、「かるたを楽しむ」から、かるたを通して「地域の良さを知る機会」としてどのように利用していくか。

■「東っ子かるた」を活用できるよう、年間指導カリキュラムに位置づけた。各教科・領域、行事等で無理なく活用し、かるたに親しみ、地域を知るきっかけにしていこう。

地域に学び、地域を理解し、地域のために生きる塩尻人を目指して 〈 塩尻市立塩尻東小学校 コミュニティ・スクール 〉

1 学校運営協議会の取組み

(1) 第1回学校運営協議会 H29.4.17

- ①新会長・委員への任命書の授与
- ②平成29年度学校運営方針について説明
- ③コミュニティ・スクールで目指す子どもたちの姿
(グループワークで熟議→全体で熟議)

(2) 第2回学校運営協議会 中学校区3校合同 H29.7.25

- ①各学校の運営状況について説明
- ②塩尻中学校区において、小・中一貫して地域と学校で育てたい子どもの姿
(グループワークで熟議→全体で熟議)

(3) 第3回学校運営協議会 H29.12.21

- ①平成29年度学校運営の成果と課題について説明
 - ア) 児童アンケートの結果から授業改善が進んでいることとそれに伴い子どもたちの学習意欲が高まっていること、さらに全国学力学習状況調査にも反映されていることが成果として挙げられる。
 - イ) 様々な活動に意欲的に取り組める子どもたちだけれど、全国学力学習状況調査の児童質問紙の結果を見ると、自己有用感が低いことと夢を抱けていない子どもが多いことが課題として挙げられる。
- ②「自己有用感を高め、夢に向かって生きる子どもたちを育成するためにはどうすればよいか」
(グループワークで熟議→全体で熟議)
 - ア) 子どもたちが頑張っていることを周りの大人が言葉にして評価したり、子どもたち同士が互いに評価しあえる場をつくったりしていくことを大切にしたい。
 - イ) 地区の行事では、優しさ、気配り、コミュニケーション力などの面で認めることができる。地区行事への参加を促し、地区の中でも子どもたちを認めていきたい。

(4) 第4回学校運営協議会 H30.2.22 (熟議題の予定)

- ①平成30年度のグランドデザインについて「自己有用感を高め、夢に向かって生きる子どもたちの育成」の視点から小グループで熟議する。



ふるさとに誇りと愛着を抱いて育った子どもたちが大人になり、今度は自分たちが地域の子どもたちにふるさとのすばらしさを守り伝えていく。
そんな世代の繋がりが地域の中で自然に受け継がれるようになればいいなと思います。

学校運営協議会長 嶋崎 豊 さん

○学校運営協議会の成果

- ・学校と地域をつなぐパイプ役となり、新たな活動を提案していただいた。日常的に活動を広げていくための簡単な打ち合わせを日常的に行っていきたい。

▲学校運営協議会の課題

- ・熟議の中で目指す子どもの姿は明らかになったが、今後はその姿を実現するために有効な活動を検討、精選し、組織的計画的に進めていく必要がある。

2 地域教育協議会の取組み〈学校支援活動・地域貢献活動〉

(1) 第1回地域教育協議会 H29.5.11

- ① 学校支援ボランティア紹介式
- ② 地域教育協議会総会
 - ア) 昨年度の活動報告
 - イ) 各支援部で本年度行えそうなこと
 - a) 地域学習の充実(クラブ活動・東っ子かるた)
 - b) 学習支援の充実(放課後学習・学習支援)



(2) 本年度の主だった活動

地域に残そう! 広げよう! 東っ子かるた

平成27年度、全校の子どもたちが協力して、塩尻東地区の自然、文化、伝統、歴史に関することを題材にかるたを作りました。平成28年度には、その中から特に地域にゆかりのある12枚を立て札にして関係各所に立てていただきました。除幕式には本校の児童も参加させていただきました。本年度は、さらに各クラス1枚を選び、順次立て札にしていただくことになっています。また、東地区の夏祭り「ほたると音楽のゆうべ」では、東っ子かるたを展示したり、子どもたちが東っ子かるたを発表したりして、広く地域の方にも知っていただくことができました。おかげで、「地区行事でも東っ子かるたをやってみたい」という声が上がリ、実際に楽しんでいただくことができました。また、「東っ子かるたがほしいけれど、どのようにしたら手に入りますか?」と問い合わせをいただいたりしました。

東っ子かるたを中心に地域と学校、子どもと地域の方の間に新たなつながりが生まれているように感じられます。これからも地域の宝物として残していきたい東っ子かるたです。



地域ボランティア募集に先生が大変ご苦労されています。しかし、支援活動ではアドレナリンが脳内を駆け巡る方が多いのが実情です。子どもたちと一緒に学び、楽しみながら共に成長していきたいと思います。仲間大募集中です!

地域教育協議会長 足助 照夫 さん

○地域教育協議会の成果

- ・放課後学習や地域に学ぶクラブ活動を通して地域の方から多くのことを学ばせていただき、地域の人、歴史や文化、伝統などのよさを再発見することができた。

▲地域教育協議会の課題

- ・地域への所属感を高め、地域のために生きる意識をもつためにも子どもたちが地域に貢献する活動を増やし、継続可能なものとして確立していく必要がある。

地域に学び、地域を理解し、地域のために生きる塩尻人
が育つコミュニティ・スクールを目指して

塩尻市立塩尻東小学校

学校と地域の願い

地域の方に見守られ、地域に親しみを覚え、地域のよさを感じて生活している子どもたちに、地域のすばらしさを守り伝え、発展させていく人材となってほしい

地域教育協議会（10名）ボランティア 90名

- ①学習支援部 ②読書活動支援部
- ③安心・安全支援部 ④学校環境整備支援部
- ⑤キャリア教育支援部 ⑥課外活動支援部

学校運営協議会（12名）

公民館・区長・民生児童委員・市議会議員・
保育園長・PTAなど地域の様々な立場の方
で構成しています。

熟 議

学校運営協議会で願う子どもの姿を共有し、学校運営方針を検討し、学校の課題を明らかにし、課題に対して地域とどのように連携、対処するかを熟議し、地域教育協議会と協働して課題解決を目指します。

協 働



地域の方から地域の歴史を学び、地域を誇りに思う



読み聞かせボランティアの方の思いが伝わる



自然の中で地域の方の力を借りて米作りに奮闘



思いやりの心で保育園の園児と交流



地域の誇りを歌にした「東っ子かるた」完成



自分が興味をもてる活動に地域の方と取組む

成果

- 体験的な学習の場が増え、自ら考え解決していこうとする気持ちが育っています。
- 地域のひと、もの、ことに触れ、地域のよさを感じています。
- 年上の友に憧れをもち、年下の友を大切にすることが育っています。
- 自分のよさに目を向け、前向きに取り組む気持ちが育っています。

課題

- ▲地域の方にも「やってよかった」と思ってもらえる活動を増やし、ボランティアの方を増やしていくためにはどうすればよいだろうか。
- ▲特別支援教育支援部を立ち上げ、充実を図っていくためにどうすればよいだろうか。

地域に学び、地域を理解し、地域のために生きる塩尻人

内容知

地域の歴史文化を知り
地域の未来を思い描く

方法知

課題解決の方法を学び
課題解決の体験を積む

自分知

自己を知り
なりたい自分を目指す

- ・自分の得意なことやできることを生かして地域の役に立ちたい。
- ・地域の歴史文化を大切にしながら様々な人々と協力し地域の未来を創造する。

- ・自己理解を深め、地域に生きる自分をイメージし進路を考える。
- ・目の前の問題に対して課題解決の方法を用いて、友と協力して解決しようとする。

社会人

中学校

塩尻東小学校

保育園

高学年

- ・平出遺跡、塩尻宿などの学習から地域の歴史について理解を深め、地域を大切にすることを育みます。
- ・その地域ごとに地域を大切に生活する人々の気持ちを理解します。

六年

五年

中学年

- ・新聞、短歌、詩を作る地域学習の取材から地域について興味をもてるようにします。
- ・地域の歴史、文化、産業にかかわる施設を見学し、地域について知る機会をつくります。

四年

三年

低学年

- ・校区内の散歩や見学を通して、自分たちが住む地域にどのようなものがあるかを知り、自分たちの生活とどのようにつながっているのか理解できるようにします。

一・二年

高学年

- ・最高学年として学校をリードするために、様々な課題を解決する体験を積みまます。
- ・思い通りにならない自然を相手に米作りをすることを通して課題解決の方法を学びます。

六年

五年

中学年

- ・地域の環境について課題を見つけ、解決の方法を友と協力して考えます。
- ・地域のお年寄りとの交流から相手を大切にしたいコミュニケーションの取り方を考えます。

四年

三年

低学年

- ・あやみどりの栽培を通して、地域の宝物を育てることの大切さと難しさを学びます。
- ・朝顔の栽培を通して、かわり方によって成長が違うことを理解します。

二年

一年

高学年

- ・1年生との交流や地域の行事への参加から、支え合い思いやる気持ちを育みます。
- ・地域の方の支援、友との協力が必要な米作りから、協働の大切さを学びます。

六年

五年

中学年

- ・保育園の園児との交流から人を大切にする気持ちを育みます。
- ・地域の歴史文化を大切にしようとする方との交流から自分が生きる地域を大切にする気持ちを育みます。

四年

三年

低学年

- ・ボランティアの方と触れ合うことを通して、社会のためにできることをしようとする思いに触れます。
- ・新たな友との出会いから、自分自身への見方を広げます。

二年

一年

- ・小学校4、5年生との交流から同じ地域のお兄さん、お姉さんに憧れをもつ。
- ・米作りや野菜作りの体験から地域の自然に親しむとともに達成感や成就感を味わう。

地域に見守られ、地域に親しみ、地域のよさを感じて生きる子どもたち

塩尻西小学校コミュニティ・スクール

西の大人（学校・地域・家庭）が力をあわせて、西の子の育ちを見守り、支えています。学習支援部、スポーツ文化活動支援部、キャリア教育支援部、福祉・人権教育支援部、環境整備支援部、広報部、特別教育支援部、安心安全支援部、読書活動支援部、公民館活動の各学校支援部会を組織し、様々な場面で地域の皆様のご支援をいただいています。

【本年度の主な活動】

☆：本年度から始めた取り組み

【日課】 7:40 児童玄関 開扉	【登校の見守り】 交差点で、児童の横断を支援。安心・安全な登校をサポート 【おはよう先生】☆ 児童玄関で子どもたちとあいさつ・雑談をする。落ち着いた1日の始まりをサポート	
8:20 朝の活動	【西の子エプロン 読み聞かせ】 朝の時間に教室で読み聞かせ（おもに木曜日の朝の活動の時間）	【環境整備活動】 ○花壇ボランティア 主に、朝や夕方の時間を使って、児童玄関前の花壇の水やり、草取りなど、植栽の手入れを行う ○PTA作業への参加 PTAとともに、草取り等の環境整備を行う ○ぶどう棚の整備 枝の剪定、下草の除草等
8:45 授業開始	【学習・学校行事・校外学習の支援】 各学年の活動内容に応じて、子どもたちの活動が充実するよう、安全の確保や学習活動の補助を行う ・調理実習や裁縫実習の支援 ・手話について学ぶ講座の開催 ・かけ算九九の学習を支援 ・図工の制作活動の支援（刃物の使い方等） ・水泳指導の見守り ・交通安全教室で交差点での見守り ・地域の施設見学等の引率補助（カインズ、平出遺跡、アルプスイン、ニデック、消防署等） ・クラブ活動の講師（茶道、ニュースポーツ、プログラミング） 等	
12:20 給食 13:20 清掃	【西小ライブ】 休み時間に、西の子や西の大人が自分の表現したいことを発表する場として、毎月数回開催 ダンス、歌、バンド演奏、和太鼓演奏、塩尻音頭	
13:35 授業開始	【西の大人の学校】 西の大人が学んだり、懇談したりできる場を企画し運営する ・7月 西小カフェ（PTA 三役による懇談会）、老いない脳をつくる（信州介護福祉専門学校）、すぐに使える！前向きにすることば ・10月 給食レストラン（給食試食会） ・12月 子どもとわたしたちの心の健康 本でつながるおしゃべりカフェ	
14:40 低学年 下校	【西の子チャレンジタイム】☆ 月・火・木・金曜日の放課後に開催（月8回程度）。子ども達のチャレンジしたいことをサポート。安全管理だけでなく、講師を務めたり、ともに活動を楽しんだりすることも。	【放課後おさらい教室】 水曜日の放課後、4～6年生を対象に、子どもたちの学びに寄り添い、支援する。
15:30 高学年 下校	【下校の見守り】 子どもたちに声をかけ、安心・安全な下校をサポート	
16:00 課外活動 終了	【学習ひろば】 長期休みに大門地区センターを会場に子どもの学びに寄り添い、支援する。	
【学校運営協議会】【地域教育協議会】 地域住民と学校がいっしょになって、やりたいこと・できることを相談したり、地域の情報を共有したりする。保護者にもっと知っていただくために「ガクウンキョーだより」を複数回発行する。		

できる人ができるときに 西の子も西の大人も共に活動を楽しむ



おはよう先生 登校した子に声かけ



いっしょにベルマークの分類



いっしょにぶどうの収穫



西小ライブ 和太鼓演奏



九九を覚えたから言ってみよう



チャレンジタイム 走り方教室

「おはよう先生」「西の子チャレンジタイム」など、都合のつくときに学校に来ていただき、子どもと共に活動する機会を増やすことができました。また、活動に賛同し、協力して下さるボランティアの方も少しずつ増えてきました。しばらく休止していたベルマーク活動は「ベルマークで座談会」として今できるスタイルで再開しました。いろいろな大人との関わりの中で、子どもが安心して充実した学校生活を送ることができました。

広報の充実 ガクウンキョーだより・案内チラシ

ガクウンキョーだより
No. 52 10月25日発行

ガクウンキョーは、西小西小中学校運営協議会が作成している活動報告書です。

活動している「西の大人」のたのしみや、地域の大人が「西の子」を支える役割、合同行事などガクウンキョーの活動の一つ、キョーの活動のついで、5、6、7、9、10、11、1、2月の水曜日不定行われる、西小西小中学校で、4年生から6年生の希望者が来場しています。放課後の1時間、図書室に集まって単発活動も実施しています。毎週月曜日に発行し、毎週水曜日に配布しています。発行後には必ず、時間いっぱい自習室で読む子、横たわります。

「おはよう先生」の活動の様子。この活動は、地域の大人が「西の子」を支える役割を果たしています。

九九を覚えたから言ってみよう。この活動は、子どもたちが九九を覚えたことを発表する機会を提供しています。

1、2月の募集が12月に行われます。学年を越えて勉強できる空間は、教室とは違った楽しさがあふれます。また学校を通じて募れますので、予約してくださいね！

ベルマークで座談会
11.26(水)・12.10(水)
両日13:30～14:30 西小3Fコンピュータ室にて

西小西小にたくさんあるベルマークを整理し、子どもたちのために役立てたいと考えています。おしゃべりしながら、楽しく活動できればと思います。お気軽にご参加ください。

子どもたちも西の子チャレンジタイムで頑張っています！
当年度西の子チャレンジタイムでの活動は、11月27日になります。お気配にあわせてください。

お問い合わせ
西小西小 (教頭) ☎52-0147
学校支援コーディネーター (総務) ☎080-8836-9484

西小西小でのボランティア大募集

西小西小の子どもたちの学びや成長を支えてくださる方を募集しています。【読書・学校での見守り・授業のサポート・放課後の活動の見守りなど】

特別な資格や技術などは必要ありません！
まずはお気軽にお問合せください！

【お問い合わせ】
●西小西小 (教頭 中村)
電話：0263-52-0147
メール：hoshino@w-nishio.jp
●学校支援コーディネーター (総務)
電話：080-8836-9484

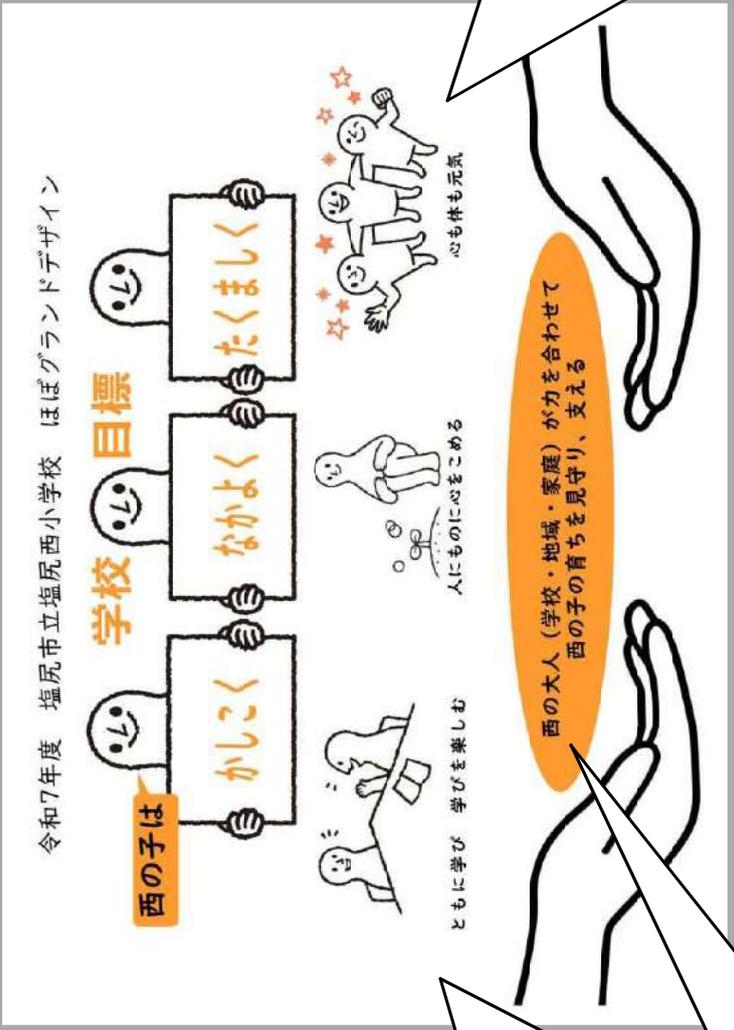
学校運営協議会で取り組んでいる様々な活動、そこに携わる人の思いを知っていただきたく、「ガクウンキョーだより」を発行しました。また、各種企画の参加者募集については、チラシを作成。気軽に参加していただけるように工夫しました。

今年も、知識や経験を生かして、多くの方に学校の教育活動に参画していただきました。学校が、一層、大人も子どもも気軽に集うことができる場となるように、学校運営協議会で話題になった「やりたい」を具現化できるよう、次年度も、さまざまな活動を企画していきたいと思っております。引き続き地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

塩尻市立塩尻西小学校 アクションプラン2025

～学校目標具現に向けて地域学校共同体制でなができるかな、できそうかな～

- ・英語学習→姉妹校、地域とコラボ、世界の塩尻市を知る。
- ・西小Youtube→セキリシティの学習
- ・いつもの授業に大人も参加して授業を受ける
- ・放課後学習支援ボランティア
- ・長期休業に公民館で学習支援
- ・大門地区の史跡巡り・地域の昔を知る
- ・子どもが先生：保護者、地域向けICT教室
- ・親子で人権教育
- ・夜の絵本お話し会
- ・得意分野を伝える場の設定
- ・野外活動への参加・公園巡り
- ・ドッキリ(いたずら)を考えよう
- ・大門地区内オリエンテーリング
- ・方言を作った塩尻の昔話
- ・社会に出て行くための地域教育
- ・教師と児童の接点が縮まる環境作り
- ・不自由な生活体験
- ・手話であいさつができる
- ・親の仕事を紹介するキャリア教育
- ・西の大人も一緒に社会見学



- ・大人からどんどんあいさつ
- ・西の子と西の大人と一緒に高ボッチ登山
- ・地域のレジェンド(太鼓、音楽・茶道・書道・ダンス・歌など)と体験会
- ・塩尻音頭を一緒に踊る
- ・参加しやすい西の大人だけの活動
- ・高ボッチ高原FMの活用
- ・スーホの白い馬：馬頭琴と朗読
- ・夏休みとかに地域の人々が教える○○教室
- ・キッズフリマ
- ・安心安全のための街頭指導
- ・相手の痛みが理解できる話し合いの時間
- ・クイズ大会・スポーツテストの協力
- ・保護者ではなくても学校行事に参加
- ・男女の壁を越える道徳教育
- ・公民館主催行事への西の子の参加
- ・社会の善悪をしっかりと教える
- ・西の子と西の大人で学校清掃
- ・運動会までカウントダウン(正門から見るところ)
- ・大人も参加できる運動会
- ・昔の遊びを一緒に

- ・西小の子の好きな遊びをやる
- ・読み聞かせに地域の人も参加を!
- ・西の大人が気軽に参加できる仕組み作り(ネットを活用して)
- ・老人クラブや地域の人たちと花壇づくり、落ち葉集め→焼き芋!
- ・夜のごはん会
- ・場になじめない子の見守り、一緒に行動
- ・各支部の行事のやり方(準備、進め方など)を大人と一緒に
- ・勝手に好きなときだけ見守り活動(登下校)ハイタッチしよう!
- ・体育館で西の子と西の大人と一緒に映画鑑賞
- ・三九郎など、○○町ごとではなく、地域活動を大きくしたい
- ・「なかよし」ってどんなことか考える
- ・固定しない、良いリーダー育成
- ・ゴミリンピック
- ・カラオケ大会
- ・ブドウ収穫祭
- ・好きな野菜を作り・ブドウジュース作り
- ・外国の文化を学ぶ・行ってもよい、場所の雰囲気作り
- ・高齢者と西の子のお茶会
- ・玄蕃まつり参加
- ・学用品リサイクル促進
- ・地域の人達が自由に授業参観

西の大人もいっしょに成長

西の大人が力を合わせて、西の子みんなの成長を見守ります。支えます。そして、いっしょに成長します。

西の大人みんなで考えよう

西の子は かしこく なかよく たくましく
そのために、西の大人の仲間とどんなことができそうかな。
どんなことをしたいかな。
話し合ってみよう。

令和7年度 塩尻市立塩尻西小学校 地域教育協議会活動計画

No.	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校運営協議会	学運協①			学運協②					学運協③		学運協④	
地域教育協議会	西の大人の学校	地教協①		CS交流会							地教協②	
1	はるやすみ学習会	お願いいたしますの会	放課後おさらい教室		なつやすみ学習会					放課後おさらい教室	ありがとうの会	はるやすみ学習会
2		お願いいたしますの会 スポーツ補助6人				クラブ活動 3回					ありがとうの会	
3	ブドウ栽培		総合的な学習								コミク festa	
4								手話講座 3回				
5	学校花壇づくり補助		PTA作業と 合同で環境整備	玄蕃まつり 清掃			体協の他団体とも合同で PTA作業と 合同で環境整備					
6												
7	特別支援教育支援部	スポーツ テニスボランティア	音楽会の 楽器運び ボランティア	ベルマーク収集・集計								
8	安心安全支援部											
9	読書活動支援部		読み聞かせの 活動									
10	公民館活動	はるやすみ学習会			夏休み学習会						コミク festa	はるやすみ学習会

地域と共にある学校

塩尻西小学校コミュニティ・スクール

西の大人（学校・地域・家庭）が力をあわせて、西の子の育ちを見守り、支えています。学習支援部、スポーツ文化活動支援部、キャリア教育支援部、福祉・人権教育支援部、環境整備支援部、広報部、特別教育支援部、安心安全支援部、読書活動支援部、公民館活動の学校支援部会を組織し、様々な場面でご支援をいただいています。

学習支援 知識や経験を生かして



ポップコーンづくり



豆腐づくり



水泳指導



プログラミング



ぶどうの収穫



歯科指導

多くの西の大人が、知識や経験を生かして、子どもたちの学習活動の支援に携わってくださいました。子ども達と対話をしながら、いっしょに活動を楽しむ場面が多くみられました。子ども達も、活動を楽しみ、より詳しい知識を得たり、講師の方からほめていただいたりして、有意義な時間となりました。

安心・安全な環境づくり



交通安全教室 安全な自転車の乗り方を学ぶ



登下校時の横断歩道での見守り、交通安全教室での指導補助、PTA 作業への参加など、安心・安全に関わる活動にも多くの支援をいただきました。「子どもたちからのあいさつに元気をもらっている」との地域の方の声もありました。

キャリア教育 大人へのあこがれを持つ



宇宙(太陽)についての話



ベトナム出身の方の経験を聞く



陸上競技場建設現場を見学

大人が真剣に取り組んでいることを知る機会を持つことができました。子ども達にとって少し難しいと思われる内容でも、大人が真剣に取り組んでいることは、どれも説得力があり、興味を持つことができる内容でした。大人へのあこがれを持つ時間となりました。

西小ライブ 参加自由 西の子も西の大人も自分の「好き」を表現



運動会スペシャルライブ 太鼓演奏と塩尻音頭



友だちと練習してきたダンスを発表



けん玉パフォーマンス



絵本の読み聞かせ



ギター演奏

休み時間を使って行われる西小ライブ。子どもも大人も自分の「好き」を思いっきり表現する場となりました。発表の内容も歌やダンス以外にも広がってきていること、出演する人だけでなく、司会や機器のセッティングや片付け、ポスターづくりといった裏方の仕事も自主的に参画していただける方が増えてきたこと、みんなで楽しむ時間として定着しています。

知識や経験を生かして、多くの方に学校の教育活動に参画していただきました。学校が、大人も子どもも気軽に集うことができる場となる必要であると考えています。本年度より始めた「西の大人の学校」はそのきっかけになればと思います。

学校運営協議会で話題になるいろいろな「やりたい」を「やって楽しかった」につなげることができるよう、次年度も地域の皆様にご協力いただきながら取り組んでいきたいと思ひます。

塩尻西小学校「西の大人の学校」第2弾

ICT 体験教室

デジタル教科書、デジタル教材を体験してみませんか

令和6年9月27日(金)
13:20~14:50
北校舎4階 研修室

塩尻西小学校「西の大人の学校」

こころを豊かにする アロマ講座

アロマセラピーの心と体のセルフケア

令和7年9月19日(金)
14:30~15:30
塩尻西小学校 多目的室(応接室)

保護者や地域が学ぶ場「西の大人の学校」

地域と共にある学校

塩尻西小学校コミュニティ・スクール

本校では、学習支援部、スポーツ文化活動支援部、キャリア教育支援部、福祉・人権教育支援部、環境整備支援部、広報部、特別教育支援部、安心安全支援部、読書活動支援部、公民館活動の学校支援部会を組織し、様々な場面で御支援をいただいています。

また、今年度から始まった西小ライブでは、多くの地域の皆様・保護者の皆様にライブに出演していただいたり、鑑賞していただいたりしながら、子どもたちと楽しい時間を共有することで、地域と共にある学校づくりを進めています。



地域に見守られながら登下校します

【登下校指導】



読書の楽しさを味わいます

【西の子エプロン読み聞かせ】



地域の方と共に花を育てます

【花壇づくりボランティア】



地域の方が張ってくれました

【運動会のテント張り】



自立的に学ぶ力を伸ばします

【放課後おさらい教室】



専門的に学びます

【ヘルSPA塩尻水泳学習】



夏休み 自ら求めて学びます

【夏休み 学習広場】



自分の好きを深めます

【外部講師によるクラブ学習】



特産物の育て方を学びます

【キャリア教育 ブドウ栽培】



夢の実現に向けて

【秘密基地づくり】



多様性を包む 自然体で

【川崎昭仁さん トーク&ライブ】



書写の凄さを味わいます

【吉越秀之先生 書初め教室】



前向きな生き方を学びます

【PTA 講演会 ゆでたかのさん】



健やかな育ちを目指して

【パネルディスカッション Let's子育て】



市長さんからも御意見を



地域との共学共創

【西小ライブ】

地域と共にある学校づくり（地域との連携・協働）を通し子ども達は、地域の皆様に守られている安心感を味わったり、地域や保護者、仲間や先生方と一体となる心地よさを味わったりしながら、主体的・多角的・専門的に学び、それぞれに資質・能力を高めているように思います。

何より嬉しいのは、多くの地域の皆様との触れ合いにより、子ども達が自己有用感を高めていることです。今後も子どもの健やかな育ちのために、地域と共にある学校づくりを進め、その取組により地域との共学共創を目指し、よりよい社会づくりに寄与していきたいと思ひます。無理のない持続可能な取組により。

地域と共にある学校

塩尻西小学校コミュニティ・スクール

本校では、学習支援、キャリア教育支援、環境整備支援、安心安全支援、読書活動支援等、合計10の学校支援部会を組織し、様々な場面で学校教育活動の御支援をいただいています。

今年度も、新型コロナウイルス感染状況に応じ、計画していた活動を中止や縮小せざるを得ませんでしたが、感染対策を講じながら実践した活動がありました。その一部を紹介します。



数年前、児童の交通事故が続けて発生してしまいました。そこで、学校運営協議会の協力を得て、登下校時の見守りをしていただいています。通学路の数カ所に、雨の日も雪の日も毎日、安全指導に立っていただいています。また、交通安全教室には、地域の指導者にお越しいただき、御指導をいただいています。おかげ様で、子どもたちは、大きな事故に遭うことなく、毎日、安心・安全に登校しています。



4～6年生で実施しているクラブ活動では、陶芸クラブ、手芸クラブ、折り紙・イラストクラブ、ICTクラブで、学校支援ボランティアの皆様を講師として活動しています。専門的な知識や技能を教えていただく貴重な機会となっています。子どもたちは目を輝かせながらクラブ活動に取り組んでいます。



朝の活動の時間に、西の子エプロン（読書活動支援部）の皆様から読み聞かせをいただいています。西の子エプロンの皆様は本の読み方が上手で、子どもたちは本の世界に引き込まれています。子どもたちの読書活動の充実や読書に親しむ姿につながっています。



学習支援部の皆様におさらい教室で指導していただいています。週2回、16:00からの1時間、5・6年生の希望者が自主学习に取り組みます。質問があれば随時ボランティアさんに質問します。「あっという間に時間が過ぎちゃった」と感想を伝える子どもがいる等、充実した時間になっています。その他、夏休み中には、学習支援部と公民館が連携し、夏休み学習会を開催していただきます。冷房の効いた公民館で、子どもたちは夏休みの課題に取り組みます。質問は、ボランティアの皆様が随時受けてくれます。ありがたい取組です。



その他にも、学校ブドウ園での、キャリア教育支援部の皆様によるブドウ栽培の御指導、総合的な学習の時間や生活科の時間での、探究的な学びの御支援、各教科学習の御支援等で連携・協働していただいています。子どもたちは、地域の皆様と触れ合い、挨拶を交わし合い、地域の皆様から御指導いただき、笑顔で関わることを通して、地域に守られている安心感を抱くと共に、自己有用感を高めているように思います。学校支援ボランティアの皆様・地域の皆様に心から感謝です。「地域とともにある学校づくり」、子どもたちの笑顔と幸せのために、今後も、無理のない持続可能な取組として、推進していきたいと思ひます。

地域とともに

塩尻西小学校コミュニティ・スクール

本校では、学習支援、スポーツ文化活動、環境整備、安心安全、読書活動など合計10の学校支援の部会を組織し、様々な場面でボランティアとして教育活動の支援をいただいています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の第4～6波による制限のため、昨年度に続き計画していた活動を中止せざるを得ない状況になりましたが、工夫や努力を重ねて実現した活動がありました。その一部を紹介します。



3年前、児童の交通事故が続けて発生してしまいました。そこで学校運営協議会の協力を得て登下校の見守りをいただいています。通学路の数カ所に雨の日も雪の日も毎日、安全指導に立っていただいています。また年2回の交通安全教室には地域から指導者を招いて実演を交えた指導をしています。おかげで子どもたちは大きな事故に遭うことなく安心して学校に登校しています。ボランティアさんや運転手さんから、挨拶がよくできる子どもたちとの評価を得ています。

【新たな学校支援ボランティア募集】

今年度、放課後おさらい教室の講師、学校花壇整備のため児童会栽培委員会活動の補助、ベルマーク収集の仕分け集計作業、賞状の名入れのボランティアを保護者や地域を対象に募集したところ大勢の方々の登録をいただきました。これまでの活動の見直しのため学校だけでは継続が難しい内容であったため、大変心強く感じました。



(夏休み学習教室から)

(花壇づくり：苗の移植)



(月に一回のベルマーク仕分け、集計)



(賞状をもらってニコリ)



(クラブ活動講師：フラワーアレンジメント)



(西の子エプロンさんによる読み聞かせ)

総合的な学習の時間、生活科などの授業にもたくさんの外部指導者の皆さんにお世話になりました。



(6年：租税教室)



(5・6年：水泳学習)



(4年総合：ぶどう栽培)



(4年音楽：手話で歌おう)



(3年総合：田川の生き物)



(5年総合：動物愛護チラシ配布)

新しいボランティアのみなさんに大勢登録していただき、地域に支えられていることを実感した一年でした。来年度はさらに活動を充実させていくよう、4月予定の「お願いしますの会」から対面で実施していきたいと思っております。

地域に支えられて

塩尻西小学校

今年度はコロナ禍により、計画していた活動の多くが中止せざるを得ない状況になりました。その中でも、子どもたちの未来のために、アイデアを出し、工夫や努力を重ねて実現した活動がありました。

学校運営協議会、地域教育協議会をはじめ、地域の皆様のお力添えを心強く感じた一年でした。



6月の臨時休校明け、児童下校後の消毒作業、校舎清掃に多くのボランティアさんが毎日放課後來校されました。おかげで教職員の負担が減り、授業準備や打合せ等会合の時間確保ができました。

子どもたちは感染症防止特別日課中のボランティアさんの存在を知り、感謝の気持ちを持ちました。自分たちと入れ替わりに来校される方々に見てもらおうと、児童玄関のホワイトボードにメッセージを書いて伝えました。

7月、児童の清掃活動が始まりました。ボランティアさんが毎日きれいに清掃してくれた校舎を、続けて清潔に保とうと隅々まで見つけ掃除を丁寧に行う姿に成長を感じました。

(右下の写真は1年生の床掃除の様子です)





【毎朝の登校 安全見守り】



【交通安全教室の指導】



【読書旬間中の読み聞かせ】



【生け花クラブの外部講師】

生活科や総合的な学習の時間には、学年学級ごと特色のある学習が展開されました。

4年生は社会科「ごみのゆくえ」の学習から発展して、地域をきれいにしたいという願いから、標語やポスターづくりを経て、公園などに看板を設置しました。6年生は例年行っている「大門プロジェクト」の学習で、商店街に出かけて奉仕活動等を行いました。



【ゴミ捨て禁止看板設置】



【大門商店街への聞き取り調査】

大門地区のひと・ものとのかわり合い

塩尻西小学校

相手の立場を考えて

3年生は、大門地区にある老人保健施設「こもれび」さんとの交流を行いました。お年よりが何をしたら喜ぶかを考えながら、総合的な学習の時間で交流の内容を考えてきました。最初は緊張していましたが、だんだんと打ち解けた雰囲気になってきました。



5年生は、来年度に本校に入学してくる、大門地区の幼稚園・保育園に通う年長さんとの交流を進めてきました。

園児が喜びそうな遊びを考えて保育園で遊んだり、自分たちが選んだ絵本を小学校の図書館で読んだりしました。



大門商店街と私たち

4年生は、家主の思いが詰まった空き家の掃除や、ハロウィンの時期のイベントで使ってもらうため、ジャック・オー・ランタンの製作をしました。



6年生は、大門商店街をPRしようと、店ごとのイメージキャラクターやホームページ作り、地域の名産品を取り入れた顔はめパネルの製作と設置を行いました。商店との交渉もほとんど児童の手で行われました。



地域の匠から学ぶ

2年生は、地域の方の指導を受けながら、学校の畑で収穫した大豆で豆腐作りに挑戦しました。いろいろな道具を使いながら、おいしい豆腐を作ることができました。



夏休みに3日間開催されたサマースクールでは、今年度は地域に住む方々から、地域の素材を使ったものづくりを教えていただきました。大門商店街にあるフレンチレストランのシェフからは、さまざまな色や形の野菜でサラダを作る方法を教えていただきました。また、ヒノキを使ったマイ箸づくりにも挑戦しました。



塩尻西小学校 官民学連携学習を中核にした取組

塩尻西小学校コミュニティ・スクール

大門商店街での活動

大門商店街に活気を取り戻すため、「ふれあい食堂」のお手伝いをしました。



大門商店街で行われるイベントの企画に参加しています。お店の人も子どもも真剣です。



大門商店街のよさを知ってもらおうと、店に取材をして作ったパンフレットです。



4年生は大門の空き家掃除を行い、建物に対する家主の方の思いを感じました。

教科学習



「西の子エプロンさん」の読み聞かせで、新しい本との出会いがありました。



書写指導では、筆の使い方から整った字の書き方まで、丁寧に教えていただきました。



水泳指導では、地元のコーチに来ていただき、学年別に泳ぎ方を教えていただきました。

各種学習



福祉学習では、「こもれび」の利用者さんと世代を超えた交流をしました。



自分たちで育てた大豆をとうふにするお手伝いをさせていただきました。



新体操のコーチによる指導で、ダンスが上手になりました。(クラブ活動)



本格的な焼き物作りに挑戦しました。(クラブ活動)



幼年教育で、大門保育園と5年生が交流をしました。



横断歩道の渡り方をボランティアの方と学びました。

西の子サマースクール

く
「
」
発見した「おにぎりの
地域の食材のよさを



高校生が自ら企画した理科実験の特別授業

子どもの声より

- せっかくの大事な時間をとって来てくれて、親切に教えてくださるから、集中して勉強しました。心に残りました。(3年)
- ろうそくやシャボン玉の原理をていねいに教えてくれた。自分がわからないことをやさしく高校生が教えてくれて、わかるようになった。ぜひまた来てほしい。(6年)
- プログラミングをやってほしい。(3年、4年、6年)

〈○「成果」、▲「課題」、■「来年度に向けて」〉

○地域の方を講師に迎え、学校内だけでは体験できないことを通して、「さらに学ぼう」、「もっと工夫しよう」という意欲を高めることにつながった。

▲講師の選定については、「地域とともに歩む」というコミュニティ・スクールの趣旨に沿うようにする。

■地域での学びが次の学年や学校で生きるよう、教科や学年相互の連携を意識した活動を計画する。

地域とつながり、愛着と誇りを深め、地域の未来を拓く <塩尻西小学校コミュニティ・スクール>



学校運営協議会・地域教育協議会
 会長 齋 剛さん
 子どもの成長のために、学校と地域の連携を深めていきたい。

1 学校運営協議会の取組み

第1回 4月18日(火) 第2回 7月25日(火)

第3回 12月22日(金)

熟議題 「本年度の学校経営・運営の振り返り」

- ・「安心安全な学校」「楽しい学校」「特色ある学校」「職員が元気な学校」を目指す学校運営の取組みは良い。不登校児童の減少からもうかがえる。
- ・地域との連携、特にサマースクール・大門商店街との交流を高く評価したい。
- ・職員の超過勤務、過重負担が課題である。

第4回 2月28日(水) 予定熟議題「平成30年度の学校経営と学校運営について」

- (成果) 常に学校に寄り添い、支援していただいた。特に地域との交流を深める中枢となり、学校運営に大きく寄与していただいた。
- ▲(課題) 学校運営協議会の委員を選出するにあたり、継続的・計画的に行っていかなければならない。

2 地域教育協議会の取組み

第1回 4月27日(木)



- ・H28 塩尻西小学校コミュニティ・スクールの活動報告とH29の基本方針を学校長より説明。
- ・各支援部に分かれて支援活動について検討

第2回 2月22日(木) 予定熟議題「平成29年度の活動の反省と30年度の支援活動について」

学習支援部

○「西の子サマースクール」

夏休みには、本校出身の市役所職員と協働し、社会人講師・大学生・大学院生・東京都市大学塩尻高等学校の生徒の皆さんにお越しいただき、5日間の「西の子サマースクール」を開催した。



夏休みの学習講座



理科の一研究講座



算数の謎解き講座



塩尻の未来を考える講座

○クラブ活動講師



昔遊びクラブ



茶道クラブ

○スポーツテスト補助

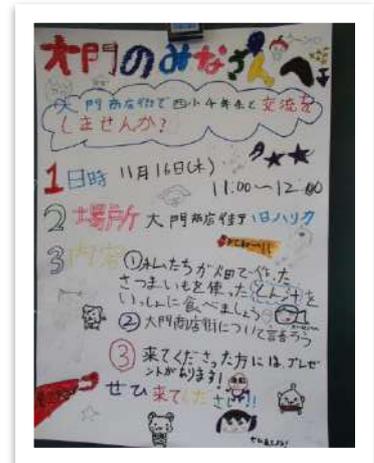


【とっておきの話】
 「人が優しい塩尻が好き。」「イベントになるとみんなが元気になる。」「ずっと今の塩尻がいい。」自分の故郷塩尻への誇りや愛着をサマースクールを通してさらに深めた子どもたちでした。

キャリア教育支援部

○総合的な学習の時間講師

昨年度より、学区の大門商店街とのつながりを深めようと活動を続けています。4月には、昨年度の活動を基に、子どもたちの絵がデザインされた懸垂旗が完成し商店街を飾りました。4年生は「今年は、掃除をした空き家で大門の人たちと交流をしたい」という願いを持ち、大門の方たちとの交流会を行いました。6年生は、大門プロジェクトの一環として、空き家に地域の方を招き、クリスマスイベントをにぎやかに行いました。



【とっておきの話】 交流会には30名以上の地域の方が来てくださいました。昔の大門商店街のころを思い出し、「懐かしかったよ。こんなすばらしい機会を作ってくれて本当にありがとう。」と涙ぐみながら帰って行かれる地域の方を見て、子どもたちは「こんなに喜んでくれるなら、絶対にまたやろう！」と、地域の方とのふれあいによって、次の活動への期待が大きく膨らみました。

子どもたちの地域貢献

○大門商店街の空き家そうじ



空き家掃除も2年目に。

○地域のイベントへの協力・参加



4年生は自分たちで栽培したカボチャをジャコランタンにして大門商店街へ。



6年生は「ハロウィンinしおじり」を盛り上げようと、ボランティアとして参加。

○今年度の成果

- 子どもたちが意欲的に取り組める活動となった。また、昨年度よりも多岐にわたった活動を実施することができ、地域の大人だけでなく高校生にもかかわってもらうことができた。地域の方が全面的にバックアップしてくださったことが豊かな学びにつながった。

▲残った課題

- 今年度行った活動を単年で終わらせずに、どう継続していくか、方策を考えていくことが必要である。

塩尻市立塩尻西小学校

地域連携の活動が加わり、日常の授業支援が増えてきている
西の子応援隊

西の子特色ある教育活動プロジェクト【キャリア教育支援部】

3・4年生西の子と空き家をお掃除なのだ、6年大門プロジェクト～地域連携～

3年生が大門商店街の空き家掃除の時に、掃除業者の方に掃除の仕方を教えていただき、一緒にお掃除にチャレンジ。「すごい」「きれいになる」とプロの技にもふれ、その美しさに近づこうと意欲的に掃除に取り組んだ。掃除終了後には、大家さんに昔の大門商店街のにぎわいを話していただき、「そんなにたくさんこの商店街に人が来たんだ」「こんな商店街になったらいいな」と夢を持ち、未来の大門商店街を絵にした。その絵は懸垂幕にして大門商店街に飾ろうと準備中。続いて4年生が別の空き家清掃にチャレンジ。6年生は大門プロジェクトで、大門商店街の活性化に向けて自分たちが考えたアイデアを実践することを通して、個々の子どもたちの自主性や地域を愛する心の育成を願っている。



3年生



4年生



6年生

【安全安心支援部】

子どもたちの安全な登下校の見守りをしていただいている。特に今年は学校運営協議会で、学校側から歩道前の桜の木の陰になって子どもたちが自動車から見えにくく危険であることを話題にしたところ、区長・組長会で協議して歴史ある桜の木の伐採を認めていただいた。右写真の通り、子どもたちのための安全安心環境がスピーディに整った。



【学習支援部】

○戦争体験のお話（6年）

戦争体験のお話をお聞きした。戦争の現実を知り、平和のために自分たちに何ができるのかを考え合った。



○クラブ講師（4・5・6年）

専門の方の技を目の当たりにして、憧れを持ち、少しでも近づきたいと意欲的に取り組むことができた。昨年よりも4名外部講師が増えたことが成果である。



○総合的な学習の時間講師

4年生はぶどうの育て方、野菜の育て方を教えていただいた。地域の特産を体験し、子どもたちは大満足。外部講師の先生も「この外部講師はずっと続けていきたい」とお話をされた。5年生は田川調査の行き帰りの安全見守りをしていただいた。



4年生



4年生



西小サマースクール

西小サマースクールでは、夏休みの課題を西小卒業生の高校生とボランティアの方に教えていただきながら集中して取り組むことができた。

【特別支援教育支援部】

普段の授業や校外学習の際の個別支援

【施設環境支援部】

校庭や敷地内の草刈り、枝払い。

【読書活動支援部 西の子エプロンさん】

クラス、学年、季節を考えて本を選び、読み聞かせをしていただける時間を子どもたちは心待ちにしている。読み聞かせ後は、図書館にて、毎回反省会を行い、情報交換の場を設けている。



【課外活動支援部】…現在、保護者が支援していますが、更に地域の方を募集しています。

【成果と課題】

- 子どもたちの中に、地域のイベントに積極的に参加する子が増えてきている。
- 先生方が率先して学校支援コーディネーターへ支援を依頼し、活動の幅が広がってきている。
- ▲本校は、地域教育協議会を立ち上げて間もないので、参加者が少なく、各支援部の活動がなかなか横に広がっていかない。今後は、各支援部のリーダーを介して呼びかけの工夫をしていきたい。

令和7年度 塩尻中学校 コミュニティ・スクール

主な活動の紹介

1. 「地域ふれあい学習」

塩尻中学校では、総合的な学習の時間（週1回程度5・6校時に設定）に5月から10月まで年間を通して「地域ふれあい学習」を行っています。この学習は、16講座を設け、各講座には専門的な知識・技能をもつ地域の方を講師としてお招きし、生徒が講座を選択して1回約100分、年間8回の学習を学年の枠を超えて行います。地域の文化や歴史、日本の伝統芸能、芸術、文化、体験的学習など、普段はなかなかできない活動・学習に取り組み、新たな発見や学ぶことの楽しさを味わうことができます。

塩嶺祭（文化祭）では、各講座で制作した作品や学習の成果を展示したり、地域に出かけて調査したことや、練習をして身に付けた表現などをステージ発表したりして、学習の成果を全校で見合い、保護者や地域の皆さんにもご覧いただきました。

その道を究めた地域の講師の方々から、技能はもちろん生き方についても学ぶことができる学習です。講師の先生方には、熱心にそして温かく生徒にご指導いただきました。



箏



生け花



阿禮太鼓



郷土の歴史



短歌



アート



空手



料理



ギター



日舞



福祉



アクティブ・ブック・ダイアログ



書道



農業体験



手話



地域の魅力発信

2. 地域の方々による学校支援

【放課後学習会】水曜放課後（年間22回）に学習ボランティアさんによる学習支援を行っていただいています。生徒は自分の学習を進めながら、分からないことをすぐに質問できる環境で安心して学びに向かっています。

【授業支援】家庭科の調理実習（1・3年）や浴衣の着付け、特別支援学級での畑の作業など、様々な活動に対して地域の方々が授業支援をしてくださいました。それぞれの活動に対して専門性を生かした学習支援により、広がりと深まりを味わい、より充実した授業となりました。また、教師の働き方改革にも大きく貢献していただいています。

【スポーツ文化活動支援】男女バスケットボール・剣道・サッカー・女子ソフトテニスの5つの部で指導をいただいています。また、吹奏楽部の大会やイベントで楽器運搬のご協力をいただいています。日々の練習で支えていただき、各種大会や地域のイベントにも安心して参加することができています。

【環境整備】学校備品の修繕、職員・保護者の砂利駐車場の整備、駐車場への電灯設置作業、積雪時の除雪など、多くの箇所の修繕や整備を行っていただいています。



2. 地域への貢献・発信

【吹奏楽部による演奏会】

「ほたると音楽のタベ」（塩尻東地区センター6/21）、「オール大門フェスティバル」（レザンホール11/30）で演奏し、地域の皆様に吹奏楽部による演奏を聴いていただき、それぞれのイベントを音楽で盛り上げました。

【阿禮神社清掃】

阿禮神社例大祭の翌日の登校前に、ボランティア委員会とボランティア生徒が阿禮神社を清掃し、お祭りで出されたゴミ拾いを行います。華やかなお祭りの裏で、お祭りを支える地域の方々の思いを知り、さらに地域の伝統的な行事への思いを深めることができました。

【地域運動会ボランティア参加】

塩尻東地区ふれあい運動会（10/12）でボランティアとして3名の生徒が参加しました。ボランティアに参加した生徒は、市民タイムスの取材で「まちの人の頑張りを見届けたい」と思い参加した。こういう行事が、もっと増えたら良いし、続いてほしいと語り、ボランティアを通して地域のよさを改めて実感しました。

【地域イベント「ローカル・ナイト・ピクニック」への協力・参加】

ふれあい講座の一つである「地域の魅力発信講座」では、平出遺跡で行われた「LocalNightPicnic」（10/11・12）に参加し、スタッフの方々と関わりながらイベント運営の手伝いを行いました。これまでの講座の中で探究してきた成果を生かし、参加者と交流しながら地域の魅力を発信しました。



ふれあい講座では、地域の講師の方による丁寧な指導の下、生徒のみならず教職員も多様な学びと体験を得て大きく成長することができました。また、学習及び部活動への支援や、安心・安全ボランティアによる見守り、環境整備の協力など、多岐にわたる地域の方々の尽力により、生徒たちは安心できる環境の中で健やかに育まれています。今後も、教育目標「理想に向かってともによりよく生きよう」の具現に向けて、地域社会に積極的に関わる中で、「地域とともに育つ学校」を目指していきます。

令和7年度 塩尻市立塩尻中学校 地域教育協議会活動計画

ねらい：地域教育協議会と学校との協働活動により、生徒の学習や体験活動の充実を図り、生徒が地域の一員としての自覚、地域への誇り・愛着を深め、学校教育目標「理想に向かってとにもよりによく生きよう」の具現を目指さず。

留意事項：「できることを できるひとが できるひと」を基本とし、学校・地域ともに無理しての活動とならないよう配慮する。

	部長	副部長・委員	PTA	生徒会	学校職員(○主)	取組案	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校運営協議会					○(支援コ) (教頭) (教務主任) (会計)	協議会運営 全体調整		学運協①		学運協②			14日,15日		学運協③		学運協④		
地域教育協議会								地教協①									地教協②		
1 学習支援部		(放課後学習) (授業支援) (地域ふれあい学習) (総合的な学習の時間)			○(放課後学習) (総合的な学習の時間) (家庭科) (まなび)	放課後学習 学習支援 夏休み・春休み学習	はるやすみ 学習ひろば	放課後学習会 (全30回)地 域ふれあい学習 (全9回)		夏休み学習会 (小・中合同)									
2 スポーツ文化 活動支援部			スポーツ文化 活動運営委員会 (PTA会長)	・体育 ・音楽 ・体育	○(教務) (音楽) (体育)	部活動支援 地域移行を見据えて	部活動指導												
3 キャリア教育 支援部	(同窓会長)				○(進路) (職場体験) (2年)	進路講話 職場体験				<進路講話>									
4 福祉・人権 教育支援部				・福祉	○(福祉) (人権)	ヘルマータク収集 人権講話・学習 高齢者施設交流					<ヘルマータク収集>								
5 環境整備 支援部				・地域向上 ・美化 ・園芸	○(美化) (地域向上) (園芸) (学校管理)	地域・校内清掃 環境整備 コムシスク・フェスタ 花を一緒に育てる (草取り・水やり)		<ロータリー花壇草取り >><側溝整備>		阿曇神社(清 掃)	<資源回収 (地域+ PTA)>	<コムシスク・フェスタ>	<人権講話>		<花壇整備・ハンジナー栽培>				
6 小中連携支援部					○(1年主任) (1年) (支援コ)	中1と小6交流支援												<新入生説明会> <中1と小6交流>	
7 特別支援 教育支援部					○(給食) (ハ・モニ) (フレンド)	レク・体験 調理実習 ものづくり			スポーツ体 験					<調理実習> <ものづくり>					
8 安心安全 支援部				・校風 ・給食 ・保健	○(校風) (給食) (給食) (義理)	学校・地域 合同あいさつ運動 給食支援 保健活動	鑑の内言号 安全確認/ 各地域での 活動												
9 読書活動 支援部		東小・西小と連携		・図書	○(図書) (図書館司庫)	読み聞かせ (地域⇒生徒) (生徒⇒地域)													
10 公民館活動			(区長会) (公民館代表)	・本部	○(生徒会) (生徒会) (教頭)	地域活動参画 ごみひろい連携 生徒会行事支援	はるやすみ 学習ひろば			夏休み学習会 (小・中合同)									

令和6年度 塩尻中学校 コミュニティ・スクール

主な活動の紹介

1. 「地域ふれあい学習」

塩尻中学校では、総合的な学習の時間（週1回程度5・6校時に設定）に5月から10月まで年間を通して「地域ふれあい学習」を行っています。この学習は、16講座を設け、各講座には専門的な知識・技能をもつ地域の方を講師としてお招きし、生徒が講座を選択して一回約100分、年間8回の学習を学年の枠を超えて行います。地域の文化や歴史、日本の伝統芸能、芸術、文化、体験的学習など、普段はなかなかできない活動・学習に取り組み、新たな発見や学ぶことの楽しさを味わうことができます。

塩嶺祭（文化祭）では、各講座で制作した作品や学習の成果を展示したり、地域に出かけて調査したことや練習をして身に付けた表現などをステージ発表したりして学習の成果を全校で見合い、保護者や地域の皆さんにもご覧いただきました。

地域の講師の皆さんがいてこそ成立する学習です。熱心にそして温かく生徒にご指導いただきました。講師の先生方に心より感謝申し上げます。



箏



生け花



阿禮太鼓



郷土の歴史



短歌



アート



空手



料理



ギター



日舞



福祉



アクティブ・ブック・ダイアローグ



書道



農業体験



手話



地域の魅力発信

2. 地域への貢献・発信

【吹奏楽部による演奏会】6/22「ほたと音楽のタベ」（塩尻東地区センター）、12/1「オール大門フェスティバル」（レザンホール）で演奏し、地域の皆様に聴いていただきました。

【阿禮神社清掃】毎年7月阿禮神社例大祭の翌日の朝、登校前に地域向上委員会とボランティア生徒が阿禮神社を清掃します。（今年は当日が休日のため中止）

【公民館への生け花展示】7/16「生け花講座」では、生け花をみて地域の方に楽しんでもらえるよう塩尻東公民館と大門公民館に生け花を展示しました。

【地域イベント「ローカル・ナイト・ピクニック」への協力・参加】

9/14・15地域のイベントを盛り上げるため、「地域の魅力発信講座」では、広報を行ったりイベントでのミニゲームを企画・運営したりしました。

（市キャリア教育 共創共学プラットフォーム との連携により実施）

【地域運動会ボランティア参加】10/13塩尻東地区ふれあい運動会でボランティアとして3名の塩中生が参加しアナウンス係・決勝係を務めました。

【コミスク・フェスタでの作品展示・交流活動】10/19・20塩尻東公民館祭の中で「コミスク・フェスタ」として「地域ふれあい学習」の作品を展示しました。地域向上委員会が「輪投げ」「ボーリング」ブースを出しました。

【給食レストラン】11/7地域ふれあい学習講師、学校運営協議会の皆さんを給食にお招きし、日頃の感謝の気持ちを伝えました。

【地域学習発表会での発表】11/16「第11回地域学習発表会」（core塩尻）において「郷土の歴史講座」の学習発表を行いました。

【美術部による切り絵展示】11/9・10「奈良井宿灯明まつり」12/31・1/1「阿禮神社奉納」へ切り絵作品を燈明として展示しました。



吹奏楽部による演奏会



公民館へ生け花展示



地域イベントへ協力



地域向上委員会ブース



阿禮神社へ切り絵展示

3. 地域の方による学習支援・学校支援

【放課後学習会】毎週水曜放課後（年間26回予定）に学習ボランティアさんが学習支援を行います。生徒の学習の支えになっています。

【授業支援】家庭科の調理実習（1・3年）で地域のボランティアさんが実習支援をしてくださいました。より授業が充実しました。

【吹奏楽部楽器運搬】吹奏楽部の大会などで楽器運搬を地域の方がしてくださいました。おかげで各種大会や地域のイベントに参加できています。

【ベゴニア・菊の鉢花】地域の方からベゴニアの苗をいただきロータリー花壇へ植えました。地域の方が菊の花鉢を貸して下さり昇降口等へ飾りました。

【環境整備】校庭側溝の泥上げ、大雪の日の除雪を行っていただきました。職員だけでは大変なところを支援いただきました。

【ベルマーク収集】地域でもベルマーク収集に協力いただいています。塩尻東公民館・大門公民館に収集箱を設置し、地域の皆様に協力いただいています。

【CSスマイルプロジェクト（朝のあいさつ運動）】

「朝の挨拶で生徒を笑顔にしたい」と学校運営協議会・PTA有志の皆さんが昇降口前であいさつをしてくださいました。（10/28～11/1、1/14・15実施）



放課後学習会



ベゴニア花壇



校庭側溝泥上げ



スマイルプロジェクト

〈成果〉地域教育協議会において、委員と職員と協議した場から「ベルマーク収集」「CSスマイルプロジェクト」など新たな支援活動が実現した。また、生け花の公民館展示、コミスク・フェスタでの交流活動、地域イベントへの協力活動など地域貢献を行う活動が増えた。

〈課題〉生徒が主体的に地域の方々と関わり、地域に働きかける場を考えていきたい。

〈来年度の方向〉生徒が主体的に活動できるような場を工夫し、地域と関わるよさや地域貢献・社会参画のよさを実感できる活動を大事にするとともに、大人も生徒への支援や協働活動を通して「やってよかった」と思える win-win の関係を大事にした「地域とともにある学校づくり」を行いたい。

令和5年度 塩尻中学校 コミュニティ・スクール

主な活動の紹介

1. 「地域ふるさと学習」

塩尻中学校では、総合的な学習の時間（週1回程度5・6校時に設定）に5月から10月まで年間を通して「地域ふれあい学習」を行っています。この学習は、16講座を設け、各講座には専門的な知識・技能をもつ地域の方を講師（1講座のみ本校職員が講師）としてお招きし、生徒が講座を選択して1回約100分、年間9回の学習を学年の枠を超えて行います。地域の文化や歴史、日本の伝統芸能など、普段はなかなかできない活動や学習に取り組み、新たな発見や学ぶことの楽しさを味わうことができました。塩嶺祭（文化祭）では、各講座で製作した作品や学習の成果を展示したり、地域に出かけて調査したことや練習をして身に付けた表現などをステージ発表したりして学習の成果を全校で見合い、保護者や地域の皆さんにもご覧いただきました。地域の講師の皆さんがいてこそ成立する学習です。熱心にそして温かく生徒にご指導いただきました講師の先生方に心より感謝申し上げます。



箏



生け花



阿禮太鼓



郷土の歴史



短歌



トールペイント



合唱・ゴスペル



塩中オリジナルレシピ



ギター



日舞



福祉



アクティブ・ブック・ダイアログ



書道



農業体験



ダンス



地域の魅力発信

2. 地域への貢献・発信

【吹奏楽部による演奏会】

6/17 「ほたと音楽の夕べ」(東地区公民館) 9/16・17「大門公民館祭り」(大門公民館)で演奏し、地域の皆様に聴いていただきました。

【美術部による切り絵展示】

11/11・12「奈良井燈明祭」(奈良井宿)で切り絵作品を展示し、美しい燈明を輝かせました。(12/31・1/1「阿禮神社奉納」での展示は雨のため中止)

【阿禮神社清掃】

7/10 阿礼神社大祭の翌日の朝、地域向上委員会およびボランティア生徒約70人が、阿禮神社を清掃しました。

【地域運動会ボランティア】

10/8 東地区運動会で地域の大人が行う係活動にボランティアとして2名の塩中生が参加し、アナウンス係を務めました。

【コミスク・フェスタ】

10/14・15 東地区センター公民館祭りにおいて、「コミスク・フェスタ2023」として、「地域ふれあい学習」の作品展示や塩嶺祭での発表を映像で流すなどして多くの地域の皆様にご覧いただきました。また、雨で中止となりましたが、屋外で地域向上委員会が園児・小学生を対象にミニ交流ゲームを行う予定でした。



吹奏楽部による演奏会



美術部による作品展示



阿禮神社清掃



コミスク・フェスタ

3. 地域の方による学習支援・学校支援

【放課後学習会】

毎週水曜日(年間30日程度)、放課後に地域の学習ボランティア5名の皆さんの支援によって放課後学習会を開いています。

【授業支援】

特別支援学級の社会科の授業では、地域の歴史に詳しい地域の方をゲストティーチャーとしてお招きしました。2・3年生の家庭科の調理実習・ミシンの授業では3名のボランティアさんが支援くださいました。

【吹奏楽部楽器運搬支援】

吹奏楽部の大会・地域演奏会などに参加する際の楽器の運搬を手伝ってくださる地域の方がいます。そのおかげで、大会参加や地域での演奏が可能となっています。

【菊の鉢花貸与】

地域の方が、菊の鉢花を持ってきてくださいます。生徒昇降口、職員玄関が菊花によって美しくが華やかになりました。



放課後学習会



授業支援



菊の鉢花貸与

〈成果と課題〉成果として、地域教育協議会の皆さんと職員が協議する場を設けたことで、必要な活動を話し合うことができた。また、「地域ふれあい学習で講師の先生に優しく声をかけていただき一生懸命活動できた」という生徒の感想や「生徒と楽しく活動できました。来年度も生徒のためになりたい」という講師の感想があった。生徒が地域の方々と関わることで得られる教育効果を感じている。課題としては、地域の方も学校も無理なく負担感なくできる活動を一緒に考えていきたい。

〈来年度の方向〉生徒が地域と関わるよさを実感でき、主体的に地域貢献や社会参画する活動を大事にして地域とともにある学校づくりを行いたい。

地域教育協議会の皆さんと
学校職員との話し合い

塩尻中学校 コミュニティ・スクール

総合的な学習「地域ふれあい学習」では16講座に分かれ、各分野の専門的な知識・技能をもつ地域の方々を講師に学習を行いました。今年度はギター講座を新設しました。5月の開講式に始まり、9月末の塩嶺祭での発表や展示に向けて、学びを深め、学年の枠を越えて一緒に楽しく学ぶことができました。地域の文化や歴史、日本の伝統芸能に目を向け、新たに知ることの多い学習となりました。教科学習とは違った分野で、全校生徒が互いに興味関心を広げることができました。

塩嶺祭での発表に向けて、見学や調査のために校外へ出かけたり、塩嶺祭の他にも地域学習発表会で発信できたりして、充実した学習となりました。発表日前日や当日まで準備に寄り添って指導して下さった講師の先生方の熱い思いやご配慮、生徒たちの学びに寄せた地域支援に本当に感謝しています。

1. 総合的な学習での支援 ～地域の方を講師に各講座で学びを深めました～



箏



生け花



阿禮太鼓



郷土の歴史



箏



トールペイント



合唱・ゴスペル



塩中オリジナルレシピ



ギター



目舞



福祉



アクティブブックダイアログ



書道



農業体験



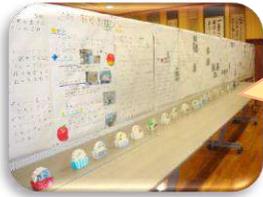
ダンス



地域の魅力発信

2. 地域への発信 <地区文化祭展示><年越し・新年の阿禮神社 灯ろう絵 美術部>

コロナ感染予防のため、塩嶺祭は学年を区切った保護者参観で、地域の方を招待できませんでしたが、ふれあい学習作品を地域文化祭で展示させていただきました。また、美術部が灯ろう絵を制作し、阿禮神社のお参りの際、多くの地域の方に灯ろうを見ていただくことができました。お声がけに感謝です。



東地区
公民館



大門
公民館



阿禮
神社

3. 地域の方による学校支援活動 <校舎正面ロータリーのもみじの植え替え支援>

生徒たちの登下校や学校生活を見守ってきたロータリーのもみじが害虫被害により樹勢が衰え枯れてしまった際、環境支援部の足助さんに植え替え支援をしていただきました。寄贈木は「挑戦の木」として今後も大事に受け継ぎたいです。吹奏楽部大会の楽器運搬支援や冬季の雪かきなども本当に感謝です。



4. 地域の方とともに<学校運営協議会>

4月・7月・12月・2月

5. 学習支援 <放課後学習>

年間20回 ~テストや入試対策の学習支援~



学校の課題と地域の協力について話し合いました。



生徒の感想

放課後学習会では地域の先生がわかりやすく教えてくれて苦手なところも分かってよかったです。

<成果と課題>

- ・コロナ禍でまだ様々な制約のある中、学校運営協議会、地域教育協議会の皆様がつねに様々な面で学校運営を支え、声かけや支援をしてくださり、とてもありがたかったです。地域ふれあい学習の新たな講師探しや通学路の街灯設置への働きかけ、校地の樹木の植え替え、雪かきなど、学校の困りごと解決への支援に感謝しています。コロナ禍で今年も中止となったPTA 資源物回収に代わる役員アルミ缶集めを区長会の皆様と共に支えてくださり、感謝です。

<来年度の方向>

- ・学校運営協議会や地域教育協議会の活動、支援を学校の教育活動や行事に位置づけ、地域と学校がさらに連携して取り組みたいと思います。

地域の方から、吹奏楽部東海大会出場祝の蘭を、文化祭前には玄関へ菊鉢6鉢を寄贈していただきました。



塩尻中学校 コミュニティ・スクール

総合的な学習「地域ふれあい学習」では地域の方を講師に今年度は以下の16講座を開設しました。各分野の専門的な知識・技能をもつ地域講師の先生方のご指導を受けながら、学年の枠を超えて一緒に楽しく学ぶことができました。コロナ感染状況から、講座学習を延期した時期もありましたが、10月の塩嶺祭での発表や展示に向けて、充実した学びとなりました。各講座学習を通して、地域の歴史や文化、日本の伝統芸能をはじめ様々な分野の学習を行うことができました。

塩嶺祭での発表の他、日舞講座は11月の市民文化祭で披露したり、郷土の歴史講座は地域学習発表会で発信したりできました。

1. 総合的な学習での支援 ～地域の方を講師に各講座で学びました～



箏



生け花



阿禮太鼓



郷土の歴史



短歌



トールペイント



合唱・ゴスペル



塩中オリジナルレシピ



茶道



日舞



福祉

アクティブブック
ダイアローグ

書道



農業体験



ダンス



地域の魅力発信

2. 地域への発信

＜地区文化祭＞ コロナ感染予防のため、塩嶺祭に保護者や地域の方にご来校いただけませんでした。が、ふれあい学習の展示作品を地域の文化祭で展示させていただくことができ良かったです。



東地区
公民館



大門
公民館

＜地域学習発表会＞



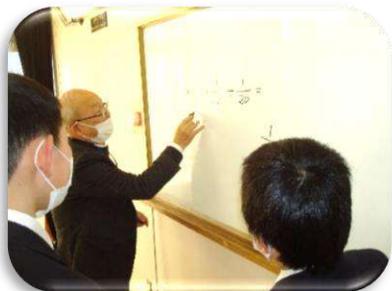
地域の歴史について調べたことを発表しました。



学校の課題と地域の協力について話し合いました。

3. 地域の方とともに＜学校運営協議会＞

4. 学習支援 ＜放課後学習＞ 年間 23 回 ～テスト前に質問ができます～



生徒の感想

初めて放課後学習に参加しました。地域の先生がわかりやすく教えてくれて苦手なところもわかって良かったです。また次も行きたいです。

＜成果と課題＞

- ・コロナ禍で様々な制約のある中、地域教育協議会の皆様が学校を常に気にかけ、支援していただき、とてもありがたかった。
- ・地域ふれあい学習の新講座の講師探しや通学路の街灯設置への働きかけなど、学校の困りごと解決への支援に感謝している。コロナで中止となった PTA 資源物回収に代わるアルミ缶集めの活動を区長会とともに支えて下さった。
- ・防犯対策強化のため、東小とともに開催した合同会議にコミュニティ・スクール会長の方々にもご参加いただき、共に考えることができた。

＜来年度の方向＞

- ・地域教育協議会の活動計画を学校の教育活動に位置づけ、連携して取り組めるようにしていく。
- ・学校運営協議会と地域教育協議会の組織を見直すとともに一体化に向けて検討をしていく。

地域の方から見事な菊鉢を玄関に寄贈していただきました



塩尻中学校コミュニティ・スクール

コロナ禍で実施できるか心配だった総合的な学習の時間に行っている「地域ふれあい学習」。回数を減らしながら、講師の方々の協力を得て何とか行うことができました。



合唱・ゴスペル



書道パフォーマンス



阿禮太鼓



日舞



箏



ダンス

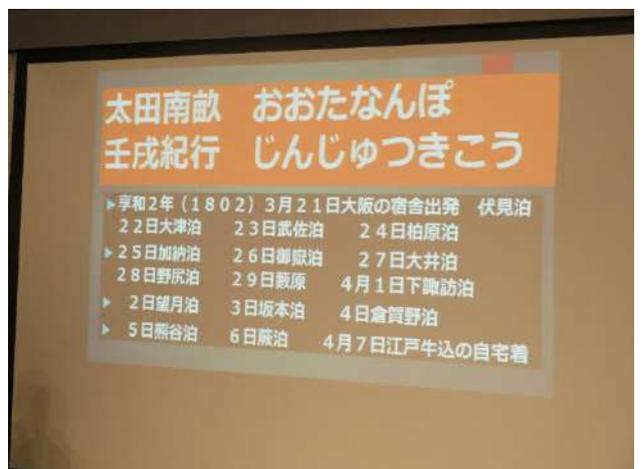
15の講座の中で、特に学習した内容を地域に発信したのが「地域の歴史講座」でした。



【旧中山道塩尻宿で塩尻陣屋や本陣跡の歴史を伝える説明板を設置した。】



【11月15日(日)除幕式の様子】



【11月15日(日)えんぱーくでの学習発表会の様子】

夏休みに行った「地域ふれあい学習」

塩尻中学校コミュニティ・スクール

今年度も夏休みに校舎の大規模改修工事が行われたため、授業日数が少なく、総合的な学習の時間に行っている「地域ふれあい学習を」地区センターや公民館をお借りして行った。



生け花講座（下西条公民館）



箏講座（田川町公民館）



わら細工講座（栈敷公民館）



短歌講座（塩尻短歌館）



書道講座（東地区センター）



地域の魅力発信講座（塩尻駅）

**地域一丸で乗り切った
塩中地域ふれあい学習**

⑩地域の魅力発信講座は、塩尻駅に出かけ、出入りする列車や建物内に入っている飲食店 2 軒のメニューと商品等の写真や動画を撮影しました。

⑬大門 7 番町公民館 茶道講座

⑮大門 3・4 番町公民館で福祉講座

④平出博物館

④郷土の歴史講座は、平出考古博物館で銅鐸や古墳また平出遺跡公園で住居見学を行いました。

⑭日舞講座は、大門公民館

⑥ツールポイント講座は、堀之内公民館

①田川川公民館 箏講座の講師さんからは「琴の運搬等も行って頂き、大変良い場所を確保して頂き有難かった」と感謝されました。

②下西条公民館 生け花講座は中学校からすぐの下西条公民館。鍵の開閉等を行っていたいただいた方から、偶然ですが、お孫さんが所属しており、出来上がった生け花が、家に飾られ話題も広がりとても良い機会を頂き有難かったというお話を伺いました。

⑤短歌講座

⑤短歌講座は、短歌館が会場となり、周囲の歌碑公園を巡り歌碑の解説もしていただきました。

⑪浅敷公民館

⑬大門七番町公民館

⑭塩尻駅

⑭大門公民館

⑥堀ノ内公民館

⑮大門三・四番町公民館

①田川川公民館

⑮塩尻中学校

②下西条公民館

⑧⑩東地区センター

⑮農業体験講座は、学校学園

⑤短歌館

⑩浅敷公民館 わら細工講座 地元講師ということもあり、講座の度に準備していたく菓束の菓すぐりに体験もさせていただきました。毎回の使用している菓束の準備にこのような手が入っていたことを知り、その大変さも理解できました。

⑦長敷公民館

⑯町区公民館

③金井公民館

塩中地域ふれあい学習は今年で 6 年目。全校生徒 373 名が学年を超え 17 講座に分かれて学習しています。今年度、校舎の大規模改修、長期夏休みでその実施が危ぶまれる中、全ての講座が区長会のバックアップで 7 月 22 日（月）に実施されました。

⑦長敷公民館 合唱・ゴスペル講座は、吉江孤雁の生家や筆塚の近くの長敷公民館で行われました。

⑯町区公民館 ガイドブック講座を行いました。講演会も行われ充実した活動ができました。

③金井公民館 阿禮太鼓講座は、太鼓の音が問題にならない会場の確保ということで三嶋山神社や水田と隣合う金井公民館に。生徒たちは、たつぷり練習ができた。最後には、明治の廃仏毀釈で廃堂にした薬師堂の仏像を、金井村の住民は廃仏にせず、今も金井公民館で大切に保管している日光・月光・薬師如来像などを見学させていただきとても喜んでいました。ずっと見学されていた地区住民の方から、「元気を頂けた。また来年も来てほしい」という要望がありました。

⑧⑨東地区公民館（センター）塩中オリジナルレシビ講座は調理室、書道講座は 2 室と駐車場、ダンス講座は多目的ホールで行われました。全館を空けていただきましたそれぞれの講座が充実した活動となりました。

「塩尻中 地域ふれあい学習2018」

塩尻中学校コミュニティ・スクール



短歌



書道



農業体験



箏



福祉



書道



阿禮太鼓



ガイドブック



わら細工



生け花



オリジナルレシピ



トールペイント



合唱・ゴスペル



日舞



ダンス



郷土の歴史

〈○「成果」、▲「課題」、■「来年度に向けて」〉

○地域の方を講師に迎え、1年生から3年生の縦割りのグループで学習を進め、その成果を文化祭で発表できた。

▲生徒たちが「主体的」に学習を進めているかということに関しては、すべての講座ができているとはいえない。

■講座内容の見直しの時期にきている。「主体的・対話的で深い学び」になるように活動の質の向上を図りたい。

地域と連携しWin-Winの関係づくりを目指すとともに、生徒の学びを深める

〈塩尻中学校 コミュニティ・スクール〉

1 学校運営協議会の取組み

第1回 4月26日(水)、第2回 7月25日(火) 2・3ページ参照

第3回 12月25日(月)

熟議題「本年度の学校経営・運営を振り返り、成果と課題を確認・理解し、来年度も視野に入れたこれからの学校経営と学校運営を考えよう。」

- ・全国学調、学校評価アンケートの結果や生徒の様子を校長より説明
- ・3グループに分かれて生徒の地域活動への参加について検討。
- ・全体会 各グループからの発表と意見交換

生徒は地域の一員として、どのようなかかわりができるか。

地域ふれあい学習で、地域の財産を探す講座を設定し、生徒自ら地元の宝を知る機会をつくる。

新しい企画を考えるのではなく、今ある活動に生徒をかかわらせる。(地区生徒会と連携する)

第4回 3月 8日(木) 熟議題「平成30年度の学校経営と学校運営について」(予定)



【成果と課題】

- 「地域と学校で協働して育てたい子どもの姿」を語り合い、「小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿」を学校・保護者・地域が共有し、必要感をもって活動することを継続させていきたい。
- ▲塩尻中学校区でふるさと(地域)の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもって地域の未来を拓き、語れる子どもの育成をするための地域の学習を学校でどのように進めていくのか。
- ▲育てたい子どもの姿に迫るためには、家庭の教育力が大切であるということ、どのように保護者の皆さんに自覚していただくか。(PTA活動や参観日等への参加等)

2 地域教育協議会の取組み

第1回 5月22日(月)

- ・平成28年度の塩尻中学校コミュニティ・スクールの活動と平成29年度の基本方針を校長より説明。
- ・各支援部に分かれて支援活動について検討。
- ・全体会 各支援部からの発表と意見交換

地域は、生徒は、先生は、保護者は何ができるかを考えていきたい。

【学習支援部】 放課後学習ではもっと効果的な指導があり得るように感じる。

授業支援は、単元により必要な支援があり得ると思う。

【スポーツ文化活動支援部】 救急処置の講習会を聞きたい。

第2回 2月 8日(木) 予定熟議題「平成29年度活動の反省と平成30年度支援活動について」

学習支援部

放課後自主学習会・夏休みの自主学習や技術科の木工製作でボランティアの方からご指導を受けています。

【地域ふれあい学習 17の講座で地域から募った講師の方にご指導いただきました。】



阿禮太鼓講座



しめ縄づくり講座



書道講座



生け花講座

読書活動支援部



読書旬間中に全学級で実施しました。

環境整備支援部



参観日等の職員駐車場を整備していただきました。

キャリア教育支援部



2年生が職場体験をしました。

スポーツ文化活動支援部



今年度は、「女子ソフトテニス部」「女子バスケットボール部」「サッカー部」「野球部」「剣道部」「卓球部」「男子バレーボール部」の7つの部で外部指導者として部活動の指導に加わっていただいています。

【中体連夏季大会】

野球部 中信大会優勝 県大会3位 北信越大会出場
女子バレーボール部 中信大会優勝 県大会出場

【中体連新人大会】

野球部・女子バレーボール部 中信大会優勝

子どもたちの貢献活動



阿禮神社例大祭
早朝ボランティア
7月10日(月)



玄蕃祭り
早朝ボランティア
7月30日(日)



塩尻東地区
第52回ふれあい運動会
10月8日(日)



東地区
公民館祭り
10月15日(日)

【とっておきの話】

技術科の木工の授業で、二人のボランティアの方が技術指導や授業の進め方の指導を若い先生に自然に行っていました。



【成果と課題】

○地域への貢献活動に子どもたちが積極的に参加するようになってきた。来年度はもっと多くの子どもが参加できるように、地域からの要望を受け入れたい。

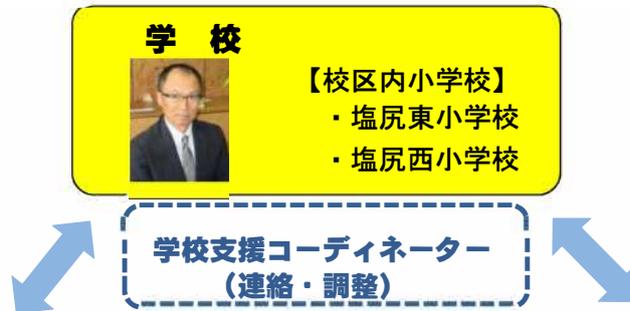
▲地域の方にも「やってよかった」と思ってもらえる活動を増やし、ボランティアの数を増やすためにはどうすればよいだろうか。

地域と連携し、Win-Winの関係づくりを目指すとともに、

生徒の学びを深める

～ 塩尻市立塩尻中学校 ～

【組織】



学校運営協議会【構成】

- 区長会（東地区・大門地区）代表2名
- 公民館（東地区・大門地区）代表2名
- 主任児童委員（東地区・大門地区）2名
- 同窓会長 ○PTA役員経験者
- PTA正副会長4名
- 支援ボランティア代表3名
- 学校代表（教頭）



※それまでの学校評議員会を基盤に構成。原則あて職で委嘱していく予定。

地域教育協議会【設置支援部】

- 学習支援部 ○読書活動支援部
- 環境整備支援部 ○安全安心支援部
- スポーツ文化活動支援部
- キャリア教育支援部
- 福祉・人権教育支援部
- 特別支援教育支援部
- 小中連携支援部



※それまでに地域の方々へ支えていただいていた活動を整理した。

【今年度の活動の様子】

学習支援部



放課後自主学習会



夏休みの自主学習

放課後の学習支援として、毎週水曜日の放課後15:30～16:30までの1時間「放課後自主学習会」を実施。地域から募った4名の学習ボランティアの方からご指導いただいています。夏休みは前半の4日間は3年生を対象に、後半の4日間は全学年対象に自主学習会を実施しました。



技術科：木工製作の支援



家庭科：調理実習の支援

「実習の時間、ひとりでは個々の生徒に対応できない」という教科担任の悩みを受けて、授業の補助に入っただけの方を学校支援コーディネーターに地域の方から捜してもらい、技術科と家庭科の授業で実習の補助をしていただきました。



地域ふれあい学習 開講式



日舞講座



しめ縄づくり講座



生け花講座

「地域ふれあい（体験）学習」の活動は3年目を迎え、今年度は18の講座を開設。そのうち15講座については地域から募った講師の方にご指導いただきました。総合的な学習の時間を使い、2時間続きの活動を10回実施。全講座、文化祭での発表を目標に活動しました。「郷土の歴史講座」は対外的な場でも発表させていただきました。

（講師の方々の感想）

- ・17名の元気でかわいい生徒たちに指導させていただき、本当に幸せな時間を過ごさせてもらい感謝です。
- ・教えるということに未熟な私たちに、このような機会をいただき、一緒に学ぶことができうれしく思います。
- ・学習しようとする姿勢が前向きでした。このような活動に対して一地域住民として感謝します。

スポーツ文化活動支援部



女子ソフトテニス部



女子バスケットボール部

今年度は、「女子ソフトテニス部」「女子バスケットボール部」「サッカー部」「野球部」「剣道部」「卓球部」の6つの部で、外部指導者としてボランティアの方々に部活動の指導に加わってもらっています。

吹奏楽部の練習や合唱練習においても、外部の方に指導をお手伝いいただいています。

環境整備支援



1年生親子作業

草刈りの計画でしたが当日雨天のため窓ふきに変更。

読書活動支援



読み聞かせ

読書旬間中の朝読書の時間に、全学級一斉に実施。

キャリア教育支援部



2年生職場体験学習

職場体験学習の実施に向け受入職場探しに協力。

【成果と課題】

- 生徒は、ふれあい体験学習等の発表を通して自信をもつことができ、学習全般に意欲が向上してきている。
- 地域の方や保護者の学校への関心が高まり、参観日や行事等に多くの方々が来校してくれるようになった。
- ▲支援部によって活動内容に偏りがみられることから、年度当初の計画づくり段階での見直しが必要である。

《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る



塩尻東小学校 学校運営協議会長 宇治橋 邦彦

10年目の今年を振り返って

学校と地域が相互に輝けるように懸け橋となるCS活動ですが、新型コロナウイルスの影響でかなり阻害されました。10年目を迎えた本年はコロナ禍以前のように、生活や私達の気持ちも戻りつつあります。人と人と人の絆が我々の活動の源泉となるので、改めて活力ある活動をしていきたいと思います。ただ、課題として地域の活動を支える方々が固定化される中、新たな人材を見出すことは容易ではありません。当地域に限らず人口減少、高齢化が進んでいるのは事実です。

学校を中心とし地域のコミュニティが形成されます。なので、CS活動、ボランティア活動を幅広く広報し、理解し協力していただく方法をこれからも模索し、実行し、11年目からの活動を更に充実したいと思います。

塩尻東小学校 地域教育協議会長 足助 照夫

コミュニティ・スクール10年目を振り返って

コミュニティ・スクールも節目の10年目を迎え学校と会員にはだいぶ浸透して来ましたが、保護者と地域の皆さんにはまだまだ認知度が低いように感じます。

学校と教育委員会のPRもさることながら、我々も地道に地域の方に伝える努力を心がける時期に来ていると思います。

私は小学校・中学校・高校と関わっておりますが、児童・生徒からの認知度が高まり年月を重ねるたびに挨拶や感謝の声のトーンが大きくなり、人数が増えているのを実感しております。子どもたちからの言葉に加え先生方からの同様の声掛け！その全てが私の日々のエネルギーと原動力になっています。

少子高齢化の時代、地域活性化に繋がる「子供たちの笑顔のために」CS活動のPRを続けていきたいと思えます。



塩尻西小学校 CS会長 郡上 典雄

コミュニティ・スクール（以下、「コミスク」）10周年おめでとうございます。十年ひと昔とは言いますが、継続には関係者のひとかたならぬご苦労があつての成果と思われまます。私自身も年数を満たしてはいませんが、かかわりを含めた感慨は一入のものがあります。

さて、コミスクは、最近の言葉と思われがちですが、思い起こせば、実は昭和年代も早いうちに学校を中心にした、いわゆる学校支援活動は行われていました。長野県内では、公民館活動がいち早く行われたという走りも受けて、私自身が体験で思わされた事例が2件ほどあります。

その1つは、学校をメインにした文化祭会場開放です。今でも記憶にあるのは、祖父に連れて行ってもらった教室内の食堂風景です。彷彿させられます。時は昭和30年代初期の時代です。当時は学校は地域に開放していただけていました。2つ目は、地区の区民運動会です。当時の運動会は、地区の大きな総合イベントでした。実は、この運動会に学校職員が役員、選手としてグラウンドで大活躍しておりました。当時、中学生だった私も当時の先生方から激励をいただき、お陰様でマラソン大会において準優勝した忘れ得ぬ思い出があります。

コミスクの今後には、昔のような学校、地域の再燃をと願っている老爺のつぶやきです。

塩尻西小学校 CS副会長 千葉 周一



私が西小学校運営協議会との関りを持ったのは、今から10年前の五番町区長を任命され区長会の充て職で運営協議会の委員に充てられたのが始まりです。それまで学校関係は、息子の中学高校のPTA役員ぐらいしか縁がありません。

当初どのように対応してよいのか不安だけが脳をかすめておりましたが、協議会委員の顔ぶれに知人が多く多少安堵したのを覚えています。

回数と年を重ねるごとに、地域の課題を提言して学校と地域の繋がりを深めれば、子供たちの援助になるのではと考えるようになりました。

行きついたのがおはよう先生の「ちばじい」であります。毎朝玄関口で300余名の西の子の孫たちと挨拶をかわし元気もらっています。

「ちばじい おはよう」と孫たちは明るいです。

塩尻中学校 学校運営協議会長 平林 袈裟雄



十年ひと昔と言いますが、Z世代は半分の5年位、α世代はもっと短い感覚のようです。学習指導要領は、文部科学省が告示する初等教育及び中等教育における教育課程の基準となっています。教科書や時間割は、学習指導要領をもとに編成され、加えて子供たちにその時代に合った教育を提供しようとおよそ10年毎に改定されてきています。2012年以降の高校数Iの教科書に突如として現れた四分位数と箱ひげ図が、

2021年度から中学2年で学習するようになりました。なんと親世代の多くが学んでいないこの分野が、令和5・6・7年度の公立高校の入試にも出題されました。子供たちは、論理的思考やデータ分析のスキルを学ぶ機会が増えています。今後生成AIの活用や規制等も含め各校のグランドデザインも、時代のニーズに応じ大きな変貌を遂げていくと思います。

塩尻中学校 地域教育協議会長 丸山 典子



されど10年！最初にCSの話を受けた時、理想的だけど学校・家庭・地域の連携は簡単ではないと尻込みした私に、地域連携コーディネーターだった池上先生が「やる気のない人は要らない、やりたくない人はやらなくて良い。」と一蹴。

ではお試しでと、塩尻中学校の学運協副会長を引き受けました。その後、後任選が難航した地教協会長も務めることになりました。塩中のCSは地域ふれあい学習として地元の講師の方々と様々な講座を通して全ての生徒が関わり、やりたい、知りたい生徒と専門の知識や技量を教えたい、伝えたい講師の方々との思いで続いてきました。時代と共に、地域との関りが薄くなってきていた生徒が、地域の人と直接関わることで、その魅力と共に、地域への関心や愛着を感じてもらう一助になったのではないかと思います。

心残りは、未だに「CSって何？」とその認知度が上がらないことですが、それもいつか解消されることを願っています。

学校支援コーディネーター 堀籠 愛由



塩尻市のCSが発足して10年目の記念すべき年に、学校支援コーディネーターとして採用していただきました。これまで「市民」や「母」としての生活では気づくことがなかった、地域の魅力や結束、そして多彩な才能に圧倒される日々を過ごしています。

また、それをスポンジのように吸収し、私たち大人の想像をはるかに超える子どもたちの生命力に触れることは、非常にドラマティックです。

CSは、長年大切にされてきた想いを基盤に、その時々のご縁によって発展していくものだと感じています。他県出身、県内に親族もない私が、この先10年後にはどのような塩尻の魅力に魅了されているのでしょうか。自身もその都度のご縁に身を委ね、楽しんでいきたいと思っています。

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」〈2017（平成29）年度策定〉

〈塩尻東小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 心身ともに健康で、元気で意欲的な子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学び、チャレンジする子ども〈課題発見力・解決力や行動する力の育成〉

〈塩尻西小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 他とのつながりを大切にしながら自分を的確・適切に表現できる子ども〈人間関係構築力の育成・人権感覚の育成〉
- あきらめず、前向きに生きられる子ども〈成功体験・チャレンジ精神の育成〉



〈塩尻中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性、自立心・自律心の育成〉

【塩尻中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働しながら主体的に活動できる子どもの育成
- 心身ともに健やかで、自己実現に向け学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈桔梗小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 笑顔があふれ、心が優しい子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 憧れを持ち、夢に向かう子ども〈より高い生き方を求め行動する力の育成〉

〈広丘小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大事にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- よく学び、体を鍛え、夢に向かい進む子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 相手の気持ちが分かり、協調して活動ができる子ども〈愛他心・協調性・チームワーク〉

〈広陵中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【広陵中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働して活動できる子どもの育成
- 様々な課題を解決しながら、自己実現に向けて学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈片丘小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学びに向かう子ども〈課題発見・解決力、自学力の育成〉

〈吉田小〉

- 社会の基本的ルールやモラルが守れ、相手を思いやれる子ども〈社会力・人間力の育成〉
- 自分の将来を描き、それに向かい動く子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 自他の気持ちを理解し、協調して活動ができる子ども〈自尊感情・愛他心・協調性の育成〉

〈丘中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、自他を思いやる心、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【丘中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈宗賀小〉

- 心身ともに健やかで元気な子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 思いやりにあふれ、助け合える子ども〈愛他心・協調性・人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学べる子ども〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成〉

〈洗馬小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども
〈自尊感情や愛他心の育成、人権感覚の育成、人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学び、夢に向かい進む子ども
〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成、キャリア教育の充実〉
- 自分の考えを的確に適切に伝えながら、他と協調して活動ができる子ども
〈コミュニケーション力、愛他心、協調性、チームワーク〉



〈塩尻西部中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉

【塩尻西部中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

楡川中学校区〈楡川中・木曾楡川小〉⇒令和4年度より楡川小中学校（義務教育学校）

【楡川中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 温かい人間関係を築くことができる子どもの育成
- 心身ともにたくましく、自立し、未来を拓く子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語る子どもの育成

【両小野中学校区〈両小野学園〉において保小中一貫した12年間で育てたい子どもの姿】
ふるさと「たのめの里」を知り、共に愛し、「たのめの里」に貢献できる子ども
～輝く「あいさつ」・響き合う「歌声」・深まる学び～

〈両小野小（辰野町塩尻市小学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- 「たのめ科」の充実
 - ・地域を知り、地域の方から伝統を継承し学び、地域を愛する子の育成
- 保小中一貫のために
 - ・「保小一貫」：校内巡り、プール交流、給食の試食、児童会祭り招待
 - ・「小中一貫」：6年生の中学校登校〈1ヶ月間〉、地域美化活動
 - ・「保小中一貫」：学園音楽祭



〈両小野中（塩尻市辰野町中学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- アントレプレナー学習、プリリアント学習を通し
 - *地域を知り、地域の活性化について考え、人々と関わることで故郷を大切に思い、さらに好きになる。
- 「夢プロジェクト生徒会」
 - *アントレプレナー学習で見いだされた課題を、全校の活動にしていく、地域貢献型の両小野中モデルの生徒会を構想していく。



〈北小野保育園（塩尻市立）〉

- よりよい環境のもとで、のびのび過ごし、発達に応じた活動の積み重ねを行える保育園
- 子どもの個性や特性を大切にし、もっている力を十分に発揮し生活できるよう一人ひとりに応じた支援ができる保育園
- たのめの里の歴史ある郷土の文化を大切にし、「太鼓活動」や「地域ボランティアの保育園参加」を通して、地域を知り地域を愛する心を育てる保育園



〈小野保育園（辰野町立）〉

- 安心して預けられる保育園
- 一人ひとりの子どもの適切な援助ができる保育園
- 保護者と共に子どもの成長を支援する保育園
- 地域ボランティアの協力のもと、地域を知り、地域を愛する心豊かな子どもの育成



塩尻市内の全小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール活動が開始された平成28年度、学校運営協議会の熟議の中で「地域と学校とで協働し、どのような子どもを育てていくのか、その具体的なイメージを地域と学校とで共有する必要がある。」という意見が多く出され、翌年度（平成29年度）第1回目学校運営協議会の熟議（グループワーク）を通し各校のものが策定され、また第2回目の中学校区内小中合同学校運営協議会では「小中の9年間を通し、地域学校協働体制・活動により育てたい子どもの姿（資質・能力）」が策定されました。これらの「姿（資質・能力）」は策定後10年を経過した現在でも各CS活動を推進・評価していく上の指標となっています。

塩尻市教育委員会の窓から



2025年度塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える
～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

塩尻市コミュニティ・スクール（以下「コミスク」）が始まって今年で10年目となりました。上記のようなテーマを掲げ、様々な話し合いの場で10年を振り返り、成果や課題を共有し、これから10年先を見据えてどんなことができそうか、話し合う機会がつけられました。

今年度の実践集は、これまでの10年の歩みを振り返ることができるように、学校ごとに10年間の取組をまとめてみました。教頭先生を中心にまとめていただいた取組の様子は、1年間の中では大きな変化を感じる事が少なくても、10年間を続けて見てみると、地道に、着実に歩んできたことによる大きな力を感じることができます。その時その時の子どもたちの成長や学び、関わる先生方、保護者や地域の皆さんの様々なつながりによってこれだけの大きな力になることを実感できると共に、これから先に関わる人がかわっても、地道に着実に取り組んでいくことが、10年先につながっていくことを実感しました。また、コミスクの中心になって関わっていただいている学校運営協議会や地域教育協議会の会長さん、学校支援コーディネーターさんからも特別寄稿として書いていただいています。関わる期間に長短はあっても、その中で直に感じた思いや願いは今後につながる大事なものが詰まっています。

これまで塩尻市のコミスクに温かく関わっていただいた多くの皆さんに感謝を申し上げますと共に、今後も「できることを、できる時に」関わる人が増え、様々な立場の大人が共に語り合いながら、楽しみながら一緒に創っていくことで、子どもたちの笑顔あふれる成長や、つながりのある元気な地域になっていくことを願っています。

1 進化するコミスク

第3回学校運営協議会は、各学校で今年度を振り返り、成果や課題を生かして来年度への準備を進める会議として、どの小委員会や協議会でも、学校の熱い思い、地域の受け止め、もっとこうしたらというアイデア等が出されていました。これからもう一步進化するために、形ややり方などを変えてみようという動きが様々なところで見られます。自分たちの学校に合った形で、より活動を広げたり、学びを深めたりしていけるように、また、学校の願いを理解してより強い協力体制で充実した活動にしていけるように、見直しできるところはしていきましょう。

動きのある例をいくつか挙げてみます。

学校運営協議会

- 学運協委員の皆さんが参加しやすい時間帯に行く（第2回は先生方が参加しやすい時間帯に）。時間を変えて開催してみる。
- 熟議のテーマをより具体的なもの、誰もが気軽に意見が言えるものにしていく。
- 話し合いの様子や内容を先生方、欠席の委員さん、地域の方に共有していく。
- 全4回の見通しをもって進め、次年度に生かせるようにしていく。
- 一体的な取組を行うために学運協と地教協を一つの組織にしていく。
- 一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

地域教育協議会（地域学校協働本部）

- ・ボランティアの皆さんへの連絡方法の見直し（LINE スクールのお試し）。
- ・ボランティアの内容をより具体的に、できるだけ早めに伝えていく。
- ・保護者・PTA の皆さんにも内容を周知して、関わってもらえる人を増やす。
- ・関わっていただいた様子や成果をボランティア・保護者・PTA・地域の皆さん・先生方に周知できるようにする（CS フェスタやお礼の会の工夫）。
- ・一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

今回の会議を通して、コミスクの取組の周知という点が、ポイントになってきていると感じました。まず、学校運営協議会の委員の皆さんにしっかり周知されているか、また周知されたことをそれぞれの立場で発信していただいているか。学校の先生方への周知はどうか。ボランティアの皆さん、地域の皆さんにどれだけ周知されているか。この点を今一度見直していきたいと考えています。

来年度から第6期（11・12年目）がスタートします。改めて、学校運営協議会委員の皆さんに役割や内容が分かるように、これまで続けている方にも確かめができるように「手引き」を作って配布する予定です。

2 11年目のスタートに当たって

来年度より、コミスクに関わる名称の変更と確認をお知らせします。

その1

- 支援から連携・協働、参画の取組みになってきている今、これからも更に協働の取組みが進められるよう、学校支援という言い方をやめます。

学校支援ボランティア → **CS ボランティア**

学校支援コーディネーター → **CS コーディネーター**

学校とボランティアの皆さんとの関係は対等、共に子どもたちのために取り組むパートナーです。そのために「CS ボランティア」という名前にしていきます。

「CS コーディネーター」は、コミスクの地域コーディネーターと地域学校協働活動推進員を合わせた役割です。今後も幅広く学校と地域をつなげていきます。

その2

- 活動に関わる大人が様々な立場の人になりつつあり、今後も更に様々な職種や立場の人々とつながっていく可能性があります。以下の名称は引き続き使用していきますが、国が発信している言葉と同じ内容であることを知っていただき、CS 活動の内容の充実に役立てていってください。

地域教育協議会（＝地域学校協働本部） **CS 活動（＝地域学校協働活動）**

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えると共に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

★塩尻市コミュニティ・スクールに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

塩尻市教育委員会 学校教育課 教育企画係（地域連携コーディネーター）

〒399-0738 長野県塩尻市大門七番町4番3号

TEL (0263)52-0280 (代) 内線 3111 FAX (0263)52-4354